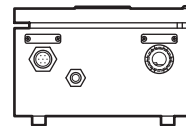
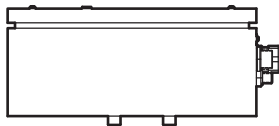
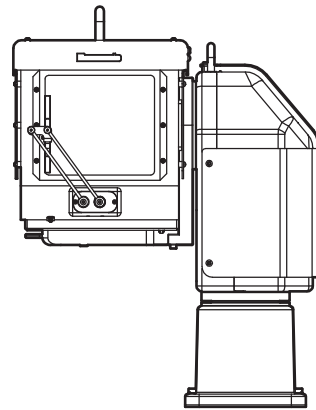
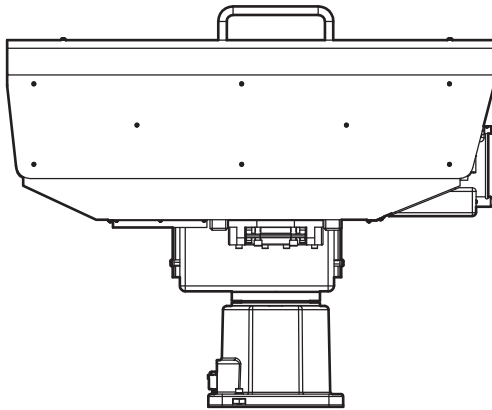


取扱説明書

屋外回転台

品番 **AW-PH650N**



- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(3～5ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

目次

| | | | |
|---------------------|----|----------------------------------|-----|
| 概要 | 2 | ■ハウジングの取り付けかた | 25 |
| 構成品 | 2 | 接続のしかた | 26 |
| 使用上のご注意 | 2 | ■ハウジング内のコネクタについて | 26 |
| 安全上のご注意 | 3 | ■カメラとハウジングの接続 | 27 |
| 設置上のご注意 | 6 | ■AK-HC1500をAW-CB400から制御する場合の注意事項 | 30 |
| 設置のしかた (回転台) | 7 | ■ACアダプターの接続 | 30 |
| ■設置上のご注意 | 7 | ■コンバーチブルカメラを使用する場合の接続例 | 31 |
| ■設置のしかた | 7 | ■マルチパーパスカメラを使用する場合の接続例 | 32 |
| 設置のしかた (ACアダプター) | 8 | リミッターについて | 33 |
| ■設置上のご注意 | 8 | ■リミッターの設定 | 33 |
| ■設置のしかた | 8 | ■リミッターの解除 | 34 |
| ■リミッターの再設定 | 34 | ■リミッターの再設定 | 34 |
| 各部の名称と働き | 10 | 消耗品の交換 | 35 |
| ■本体部 (回転台) | 10 | 外形寸法図 | 37 |
| ■ハウジング部 | 11 | ■本体部 | 37 |
| ■ACアダプター部 | 12 | ■ハウジング部 | 38 |
| ■付属ケーブル部 | 13 | ■ACアダプター部 | 39 |
| 取り付けかた | 15 | ケーブル仕様 | 40 |
| ■ハウジング載せフレームの取り付けかた | 15 | 定格 | 43 |
| ■ケーブル補償回路の設定 | 16 | 保証とアフターサービス | 裏表紙 |
| ■CPU基板のスイッチ設定 | 17 | | |
| ■カメラの取り付けかた | 18 | | |

概要

- 上50度、下95度、水平320度の回転ができる、据え付け型の屋外回転台です。
- カメラとレンズなどを合わせて、総重量10 kgまで搭載できます。(ハウジング除く)
- 最大50ポジションの撮影する位置と設定を、プリセットメモリーとして登録できます。
- 本機のハウジングは、ワイパー、デフロスターを装備しています。
- ヒーターおよび排気ファンにより、内部温度をコントロールします。
- 本機は防水保護規格IPX4に適合しています。

構成品

| | | | |
|---------------------------|---|-------------------|---|
| 本体 (AW-PH650 U02) | 1 | レンズ保持金具、ヒモおよびねじ一式 | 1 |
| 屋外カメラハウジング (AW-PH650 U03) | 1 | カメラ取付スペーサ、およびねじ一式 | 1 |
| ACアダプター (AW-PH650 U01) | 1 | 支柱取付板、およびねじ一式 | 1 |
| 電源ケーブル (30 m) (VEEB0152) | 1 | 六角レンチ一式 | 1 |
| マルチケーブル (10 m) (VEEB0133) | 1 | ハウジング載せフレーム | 1 |
| カメラケーブル (各40 cm) | 1 | フィルター | 1 |
| コンバーチブルカメラ用 (VEEB0176) | 1 | 束線バンド一式 | 1 |
| AK-HC900シリーズ用 (VEEB0177) | 1 | | |
| AK-HC1500用 (VEEB0178) | 1 | | |

- ケーブルの詳細は、13ページ以降を参照ください。

使用上のご注意

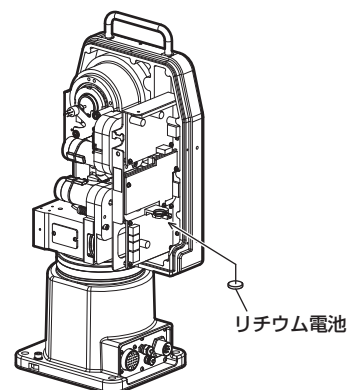
AW-PH650には、二酸化マンガンリチウム電池 (CR2032) を使用しています。

本機を廃棄する場合や本機のプリント基板を廃棄する場合は、必ず電池を取り外してください。

取り外した電池は、必ず国内法規に従って、処分をしてください。

一般ゴミとして廃棄しないでください。

電池の取り外しかたについては、「消耗品の交換」(35ページ)の電池の交換の項目を参照してください。



安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

不安定な場所に置かない!



禁止

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

電源コードや接続コードに重いものを載せない!



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災や感電の原因になります。

付属品・オプションは、指定の製品を使用する!



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない!



禁止

本機内部にはいると、故障や事故を起こす原因になります。

機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない!



禁止

火災や感電の原因になります。

本機を改造しない!



分解禁止

火災や感電の原因になります。

警告

電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない!

傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない!



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

水場で使用しない!



水場
使用禁止

火災や感電の原因になります。

本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源(プラグ)を抜く!



電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する!



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源(プラグ)を抜く!



電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

指定のカバー以外は外さない!



分解禁止

感電の原因になります。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す!













そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

| | | |
|---|---|--|
| <p>電源コードを熱器具に近づけない!</p> <p> コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> | <p>油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない!</p> <p> 火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> | <p>ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない!</p> <p> 感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> |
| <p>プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない!</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。 | <p>本機の通風孔をふさがない!</p> <p> 内部に熱がこもり、火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">風通しの悪い所に押し込まないでください。テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。 | <p>本機の上に重い物を置かない!</p> <p> バランスがくずれて落下し、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p> |
| <p>本機に乗らない!</p> <p> 倒れたり壊れたりして、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p> | <p>お手入れの際は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く!</p> <p> 火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p> | <p>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を!</p> <p> 本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になる恐れがあります。</p> <p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す!</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> |

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで製作された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。*

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※ 経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】をご参照してください。

設置上のお願ひ

- 吊り下げおよび横向きでの設置はおやめください。
- 本機の取付場所は、本機の重量および積載重量を考慮して、確実に固定できる水平で凸凹のない場所を選んでください。本機が静止時および回転時に揺れたり、ぐらついたりしないように確実に固定してください。不確実な固定や、ボルト類の緩みは製品の脱落、落下による事故の原因になります。
- 回転台を取り付けるボルトは付属していません。使用するボルトは、十分な強度および屋外使用に十分耐えられる材質のものをお選びください。
- 最大積載重量は10 kgです。(ハウジングを除く) 積載重量が10 kgを超える場合は使用できません。
- 回転台の設置が完了してから、ハウジングを取り付けてください。取付箇所の緩み対策のため、必ず平ワッシャー、スプリングワッシャーなどを使って取り付けてください。
- 設置、接続工事中は、必ずすべての電源を切ってください。
- ACアダプターの電源スイッチはすべての設置、接続工事が終了し、間違いのないことを確認してからONにしてください。
- ハウジング内部には排気ファンがついています。ファンはコントローラーのH/Fボタンから制御できますが、通常は「ON」でご使用ください。また、動作時にふさいだり、通風を妨げたりしないでください。内部に熱がこもり火災の原因になります。排気ファンは消耗品ですので、約40,000時間を目安に交換してください。(交換は必ず販売店へ依頼してください。)
- 接続ケーブル類は必ず防水型のものをお使いください。
- - 20℃以下の寒いところや、+ 45℃以上の暑いところでは動作が不安定になりますので、設置しないでください。
- 回転台の電源は、必ず同梱のACアダプターをご使用ください。(バッテリーなどは使用できません)
- ACアダプターへの電源配線は現地調達となりますので、本取扱説明書をお読みのうえ、安全に注意して配線してください。
- 回転部分を手で回さないでください。落としたり、強い衝撃を与えますと、故障や事故の原因となります。
- ハウジングを含めた回転台が旋回したときに、周囲のものに接触しないように設置し、可動範囲(リミッター)の設定をしてください。
- 回転台側で設置などの作業をしている場合には、絶対に動作させないでください。回転台の動作確認および実際に使用する場合は、必ず回転台の回転範囲に人がいないことを確認してください。
- 厨房など油分の多い場所への設置はおやめください。
- 下記の付属品をご確認ください。

● 設置前のお願ひ

AW-PH650には、本体部(回転台)やハウジング部に機能切替スイッチがあります。設置完了後では切り換えが難しい場合がありますので、設置する前に、本書の①ケーブル補償回路の設定(16ページ)、②CPU基板のスイッチ設定(17ページ)、③ハウジング内のカメラ制御切替スイッチの設定(26ページ)をご参照のうえ、使用状態に合わせたスイッチ設定に切り換えてください。

| | 品名 | 数量 | 仕様 |
|----|--------------|----|----------------|
| 1 | 電源ケーブル | 1 | 約30 m |
| 2 | マルチケーブル | 1 | 約10 m |
| 3 | カメラケーブル | 1 | コンバーチブルカメラ用 |
| 4 | カメラケーブル | 1 | AK-HC900シリーズ用 |
| 5 | カメラケーブル | 1 | AK-HC1500用 |
| 6 | レンズ保持金具 | 1 | 大型レンズ用 |
| 7 | 保持金具用ねじ | 2 | M5用、M6用 |
| 8 | 保持金具用ワッシャー | 2 | φ6 |
| 9 | レンズ用ヒモ | 1 | 約85 cm |
| 10 | カメラ取付スペーサ | 1 | |
| 11 | 取付スペーサ用ねじ | 4 | 1/4インチ、長さ13 mm |
| 12 | 取付スペーサ用ワッシャー | 4 | φ6 |
| 13 | 位置決めねじ | 1 | M5、長さ8 mm |
| 14 | ACアダプタ支柱取付板 | 1 | |
| 15 | 支柱取付板用ねじ | 4 | M8、長さ14 mm |
| 16 | 支柱用取付板用ワッシャー | 8 | φ8 |
| 17 | 六角レンチ | 3 | M5用、M6用、M8用 |
| 18 | ハウジング載せフレーム | 1 | |
| 19 | 載せフレーム用ねじ | 4 | M5、長さ30 mm |
| 20 | 載せフレーム用ワッシャー | 8 | φ5 |
| 21 | フィルター | 1 | |
| 22 | 束線バンド | 5 | 約100 mm |

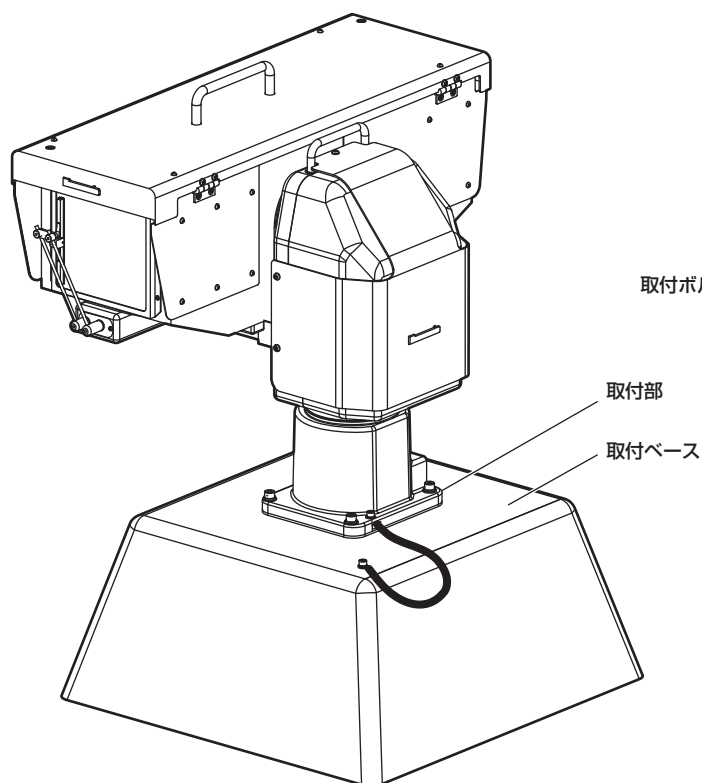
設置のしかた（回転台）

■設置上のご注意

- 吊り下げおよび横向きの設置はおやめください。
- 回転台取付孔（4箇所）を使用して、長さに十分余裕のあるボルトで確実に固定してください。

取付孔径は $\phi 10$ mmです。 $\phi 8$ mmのボルトで、長さに十分余裕のあるものを使用してください。 $\phi 8$ mmよりも細いボルトは使用しないでください。ボルトは六角ボルトまたは、六角孔付きボルトなど、工具で確実に締め付けられるものを使用してください。また、屋外での使用に十分耐えられる材質および処理のものを使用してください。

- ボルトと一緒に、緩み防止用の平ワッシャー、スプリングワッシャーなどを必ず使用してください。



■設置のしかた

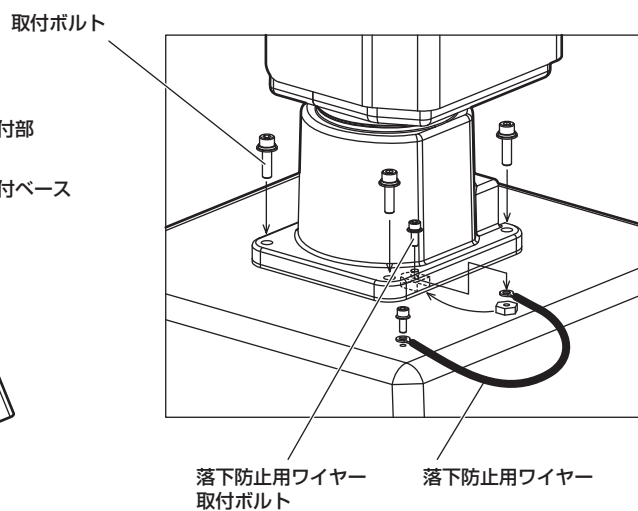
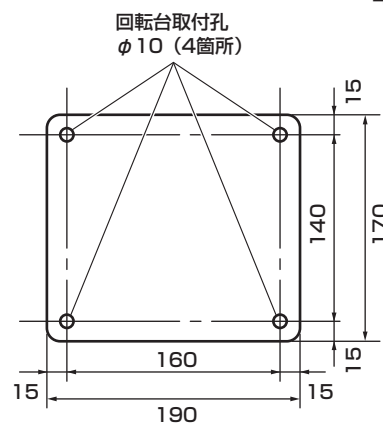
- 落下防止用ワイヤーを取付孔に取り付け、もう片方を取付ベースなどの丈夫な所に確実に取り付けてください。

落下防止用ワイヤー取付孔径は $\phi 6.5$ mmです。落下防止用ワイヤー取付ボルト $\phi 6$ mm、長さ16 mmのものを使用し、平ワッシャー、スプリングワッシャーとナットで、落下防止用ワイヤーを取り付けてください。

落下防止用ワイヤーは、回転台全体（回転台、ハウジング、カメラ、ケーブル）の重量に十分に耐えられる強度のものをご用意ください。

<取付部の寸法>

単位：mm



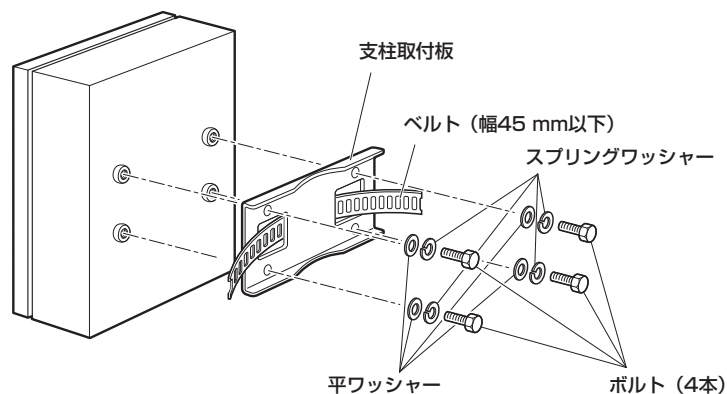
設置のしかた (ACアダプター)

■設置上のご注意

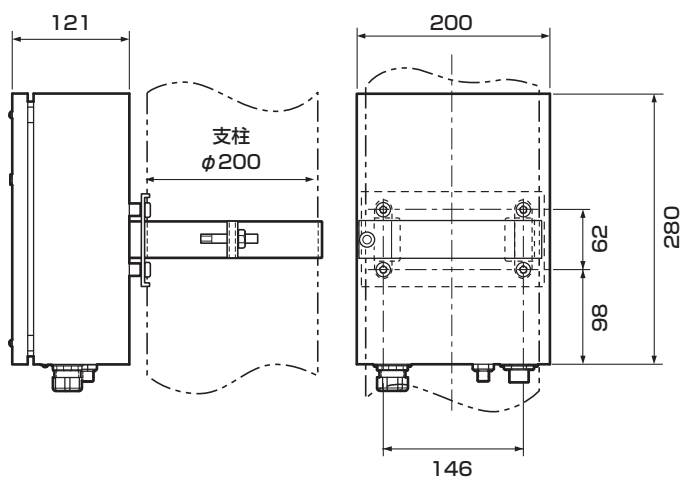
- 接続ケーブル類は必ず防水型のものをお使いください。
- 設置、接続工事中は、AC電源入力を必ず切っておいてください。
- 電源スイッチはすべての設置、接続工事（ハウジング、回転台も含めて）が終了し、間違いないことを確認してからONにしてください。
- - 20℃以下の寒いところや、+ 45℃以上の暑いところでは動作が不安定になりますので、設置しないでください。

■設置のしかた

- ① ボルト4本、平ワッシャー、スプリングワッシャー（M8用：付属品）で、ACアダプターの裏側に支柱取付板（付属品）とベルト（現地調達）を取り付けます。



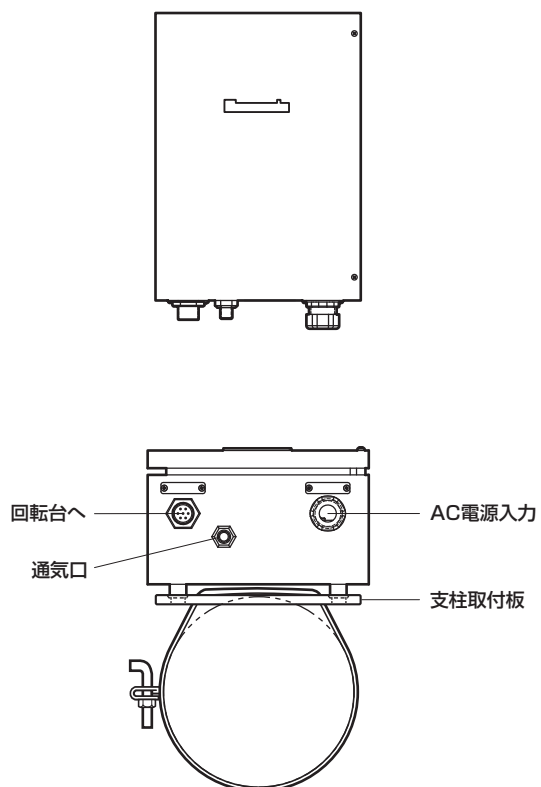
- ② 支柱取付板とベルトで、ACアダプターを支柱に取り付けます。



設置のしかた (ACアダプター)

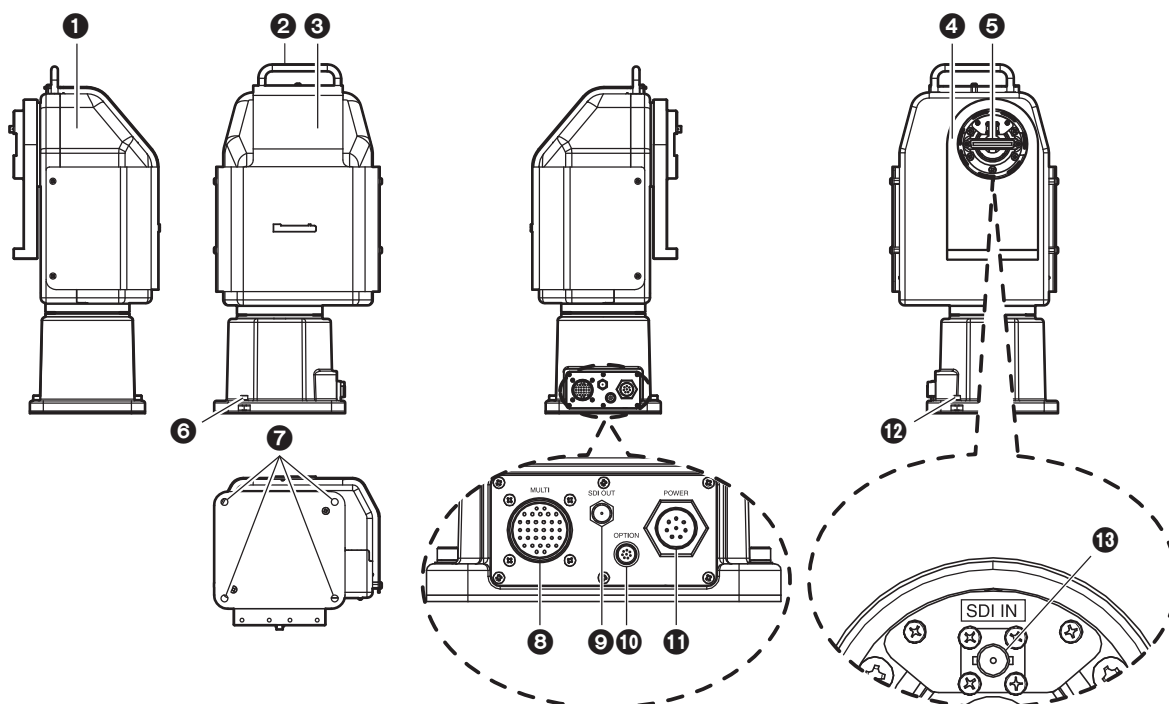
③ ケーブルを接続します。(「接続のしかた」をご覧ください。)

ACアダプターと回転台の距離は、付属の電源ケーブルの長さ (30 m) 内にしてください。



各部の名称と働き

■本体部（回転台）



① 本体カバー

ケーブル補償回路やランディング特性を変えるときは、日除けカバーおよび本体カバーを取り外す必要があります。

② 把手

回転台を持ち運ぶときや設置時に回転台を持ち上げる把手として使用します。

③ 日除けカバー

直射日光を避けるための回転台のカバーです。

④ 回転アーム

ハウジング載せフレームを取り付けてから、ハウジングを取り付けます。

⑤ I/Fコネクタ

カメラハウジングのI/Fコネクタと接続します。

⑥ 落下防止用ワイヤー取付ボルト

設置時などに、回転台の落下を防ぐために、落下防止用ワイヤーを取り付けるボルトです。

⑦ 回転台取付孔（4箇所）

回転台を設置固定するための取付孔です。

⑧ マルチコネクタ [MULTI]

付属のマルチケーブルを接続します。

⑨ 同軸コネクタ [SDI OUT]

⑬から入力されたSDI信号などを出力するときに使用します。

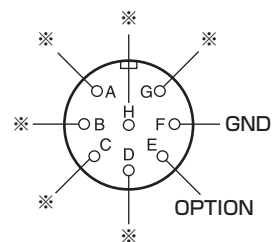
⑩ オプションコネクタ [OPTION]

コントローラーのOPTIONボタンの制御信号が出力されます。

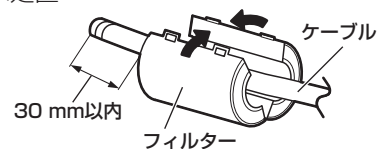
ケーブルは必ず防水型のもをご使用ください。適合コネクタは、多治見無線電機(株)R28-P8M4.8です。

ケーブルには、フィルター（付属品）を取り付ける必要があります。フィルターは、コネクタから30 mm以内に取り付けてください。

フィルターは、テープまたはチューブなどで防水処置をしてください。



※サービス用端子
(ケーブル側より見た図)



⑪ 電源コネクタ [POWER]

付属の電源ケーブルを接続します。

⑫ 筐体アース用ボルト

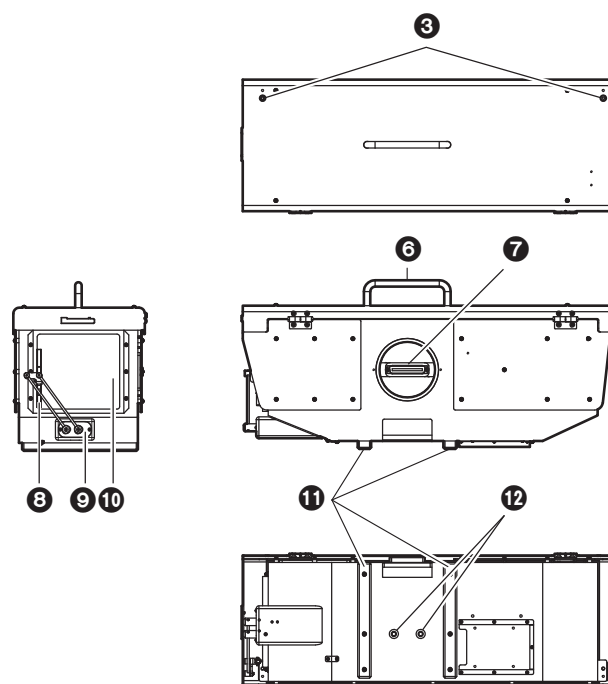
システムアース（筐体アース）用電線を接続するボルトです。

⑬ 同軸コネクタ [SDI IN]

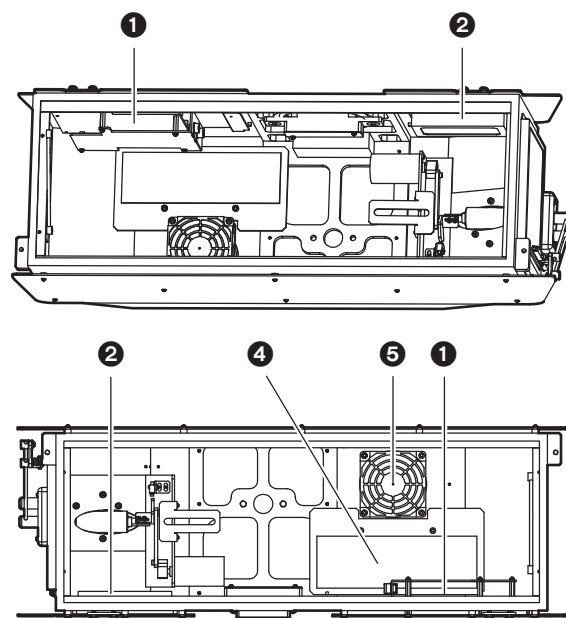
カメラにSDIカードを取り付け、SDI信号出力コネクタと接続します。

各部の名称と働き

■ハウジング部



<ハウジング内部>



① カメラハウジング制御ボード

付属のカメラケーブルを接続します。

② エアフィルター

空気の取り入れ口になります。汚れが目立つときには交換してください。

(交換は販売店に依頼してください。)

③ 上カバー開閉ボルト (2箇所)

付属の六角レンチを使用して緩め、上カバーを開けます。

④ ヒーター

コントローラーのH/FスイッチがONのとき、カメラハウジングの内部温度が低下するとON状態になります。

⑤ 排気ファン

コントローラーのH/FスイッチがONのとき、カメラハウジングの内部温度が上昇すると作動します。

温度により強弱の2動作をします。

カメラの温度が上昇すると、性能に悪影響をおよぼすので、ONでご使用ください。

⑥ 把手

カメラハウジングを持ち運びするときに使用します。

⑦ I/Fコネクタ

本体部のI/Fコネクタと接続します。

⑧ ワイパーブレード

水滴を拭き取る性能が落ちたら交換してください。

交換方法：中央部を持ち上げて上方向にブレードを抜き取り、新しいブレードと交換します。交換後、ワイパーブレードを保持している2本のロッドがガラス面と平行になっていることを確認してください。

(交換は販売店に依頼してください。)

⑨ ワイパーユニット

雨などが降って水滴が残っているときに、水滴を拭き取るために使用します。コントローラーのWIPスイッチをONにすると作動します。

⑩ デフロスター

曇り止めヒーターが蒸着されています。コントローラーのDEFスイッチをONにすると作動し、規定以上の温度になるとサーモスイッチによりOFFになります。

⑪ ハウジング取付レール

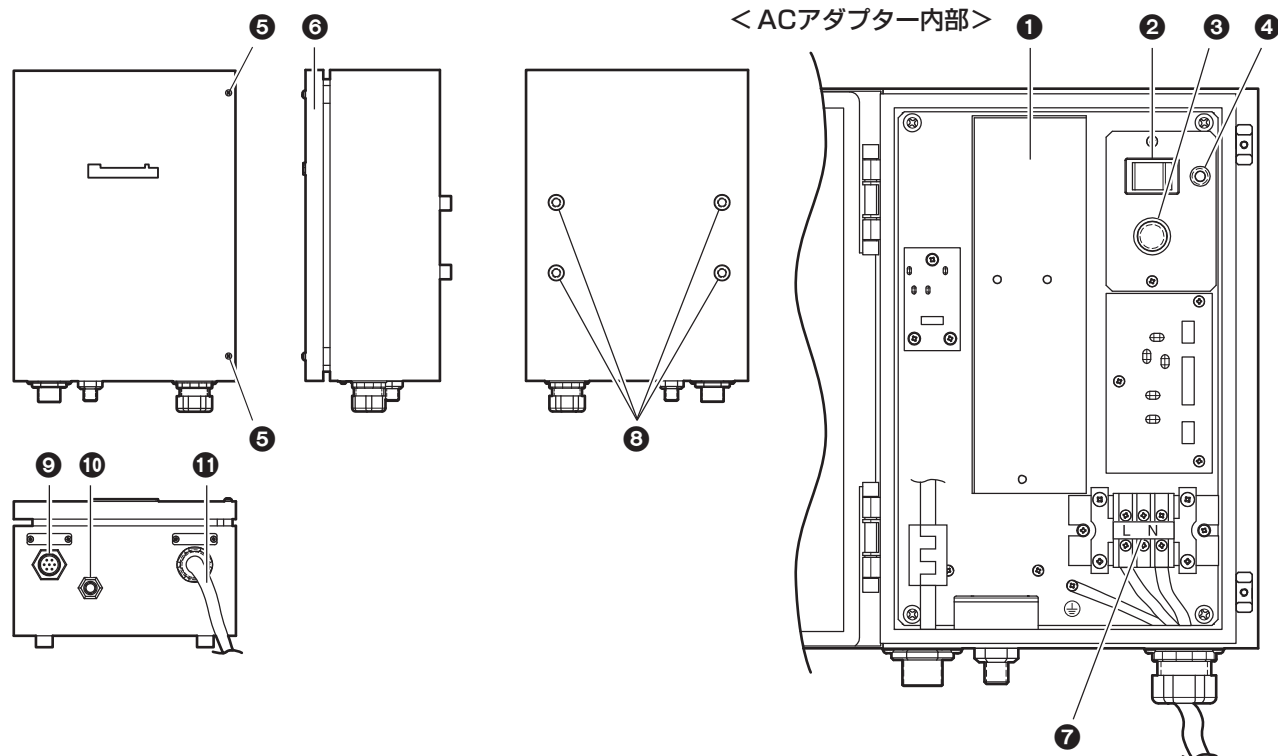
本体部の回転アームに取り付けるハウジング載せフレームに合わせて載せ、スライドさせます。

⑫ ハウジング取付ねじ孔 (2箇所)

本体部の回転アームに取り付けたハウジング載せフレームについているハウジング固定ボルトで固定します。

各部の名称と働き

■ACアダプター部



① DC電源ユニット

AC電源入力 (AC100 V) を供給すると、DC15 V 10 A (MAX) を出力します。

② 電源スイッチ [POWER ON/OFF]

DC電源ユニットに、AC電源を供給するスイッチです。使用中はONにしておきます。

③ ヒューズホルダー／ヒューズ

DC電源ユニット保護用のヒューズです。溶断時はDC電源ユニットの異常が考えられますので、販売店にご相談ください。

④ 電源表示LED

電源スイッチ②が [ON] のとき、赤く点灯します。
電源スイッチ②が [OFF] のときは消灯します。

⑤ カバー固定ねじ (2箇所)

安全のため必ず工事終了後、このねじを締め付け、カバーを閉じてください。

⑥ カバー

カバー固定ねじ⑤2箇所を緩めてカバーを開き、接続工事をします。閉じるときは、カバーを閉じ、固定ねじ2箇所を必ず確実に締めてください。

ねじ締め付けが不十分だと、故障などの原因になる場合がありますので、ドライバーで必ず締め付けてください。

⑦ AC電源入力端子盤

AC電源入力を接続する端子盤です。
(AC100 V 50/60 Hz 120 W)

⑧ ACアダプター取付ねじ孔 (4箇所)

ACアダプターを支柱などに取り付ける場合は、このねじ孔に付属の支柱取付板を取り付けます。

⑨ DC出力コネクタ [DC 15V OUT]

付属の電源ケーブルで本体部の電源コネクタ [POWER] と接続します。

⑩ 通気口

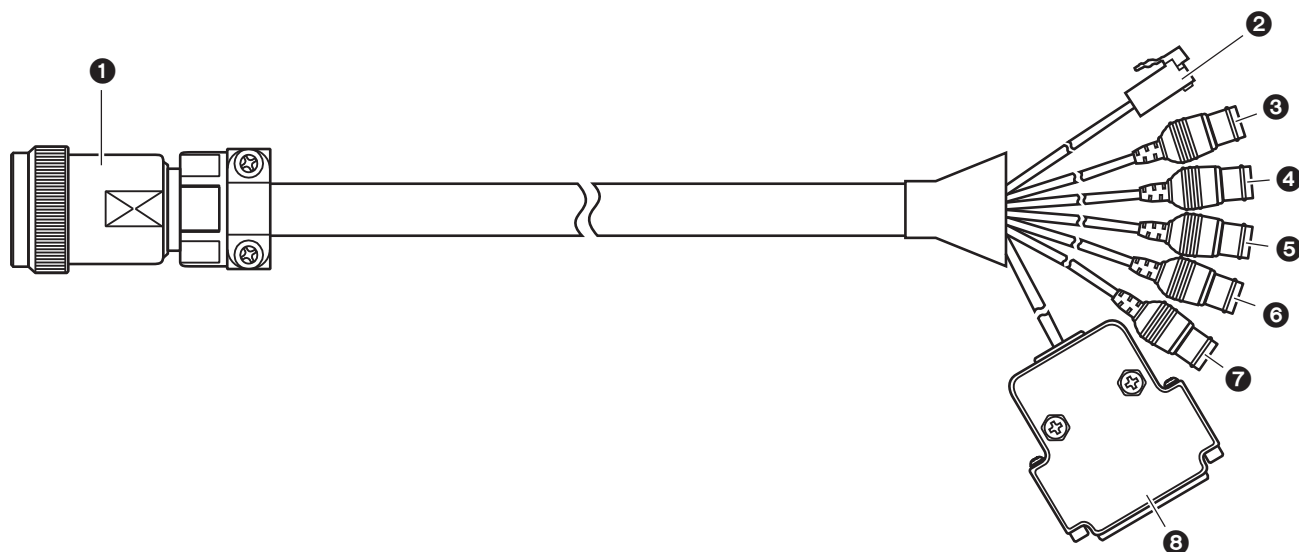
⑪ AC電源入力ケーブル [AC IN]

AC電源入力ケーブルです。固定ブッシュで保持しています。

各部の名称と働き

■付属ケーブル部

<マルチケーブル> (VEEB0133)



① 24P 丸型防水プラグ (オス)

本体部のマルチコネクタ [MULTI] に接続します。

② RJ-45 モジュラープラグ

回転台コントローラーと接続します。
最大1000 mまで延長できます。
延長する場合は、市販の中継アダプターを使って、10BASE-Tストレートケーブル (UTPカテゴリ-5) で延長してください。

③ VIDEO OUT BNCジャック

カメラの映像信号出力端子です。
接続ケーブルは、BNC同軸ケーブルをご用意ください。

④ Y OUT BNCジャック

カメラの映像信号出力端子です。
接続ケーブルは、BNC同軸ケーブルをご用意ください。

⑤ Pr OUT BNCジャック

カメラの映像信号出力端子です。
接続ケーブルは、BNC同軸ケーブルをご用意ください。

⑥ Pb OUT BNCジャック

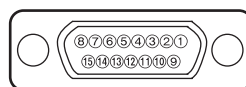
カメラの映像信号出力端子です。
接続ケーブルは、BNC同軸ケーブルをご用意ください。

⑦ G/L IN BNCジャック

ゲンロック信号入力端子です。
接続ケーブルは、BNC同軸ケーブルをご用意ください。

⑧ D-SUB 15Pコネクタ (オス)

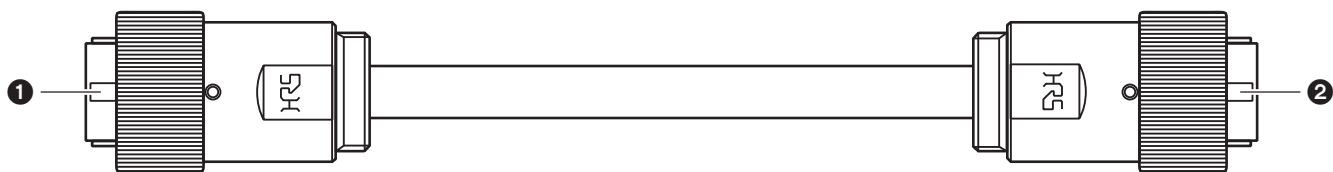
マルチパーパスカメラ用コントローラーを接続します。
直接接続する場合は、スタッドを外してご使用ください。



| ピン番号 | 信号名 |
|------|---------|
| 1 | --- |
| 2 | 9 |
| 3 | 10 |
| 4 | 11 |
| 5 | 12 |
| 6 | 13 |
| 7 | 14 |
| 8 | 15 |
| | GND |
| | TXD (C) |
| | TXD (H) |
| | RXD (H) |
| | RXD (C) |
| | --- |

各部の名称と働き

<電源ケーブル> (VEEB0152)



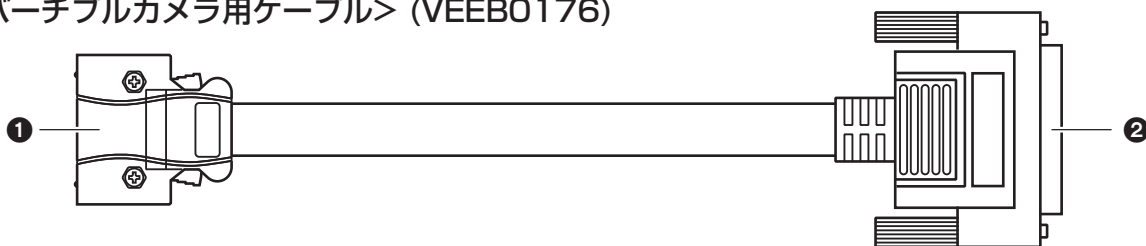
① 7P 丸型防水プラグ (メス)

本体部の電源コネクタ [POWER] に接続します。

② 7P 丸型防水プラグ (オス)

ACアダプター部のDC出力コネクタ [DC 15 V OUT] に接続します。

<コンバーチブルカメラ用ケーブル> (VEEB0176)



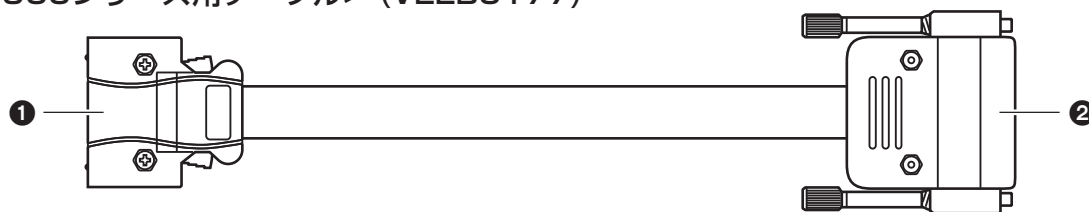
① 26P コネクタ (オス)

ハウジング部のCAMERA I/Fコネクタ [CAMERA I/F] に接続します。

② 50P コネクタ (オス)

コンバーチブルカメラのCAMERA I/Fコネクタ [CAMERA I/F] に接続します。

<AK-HC900シリーズ用ケーブル> (VEEB0177)



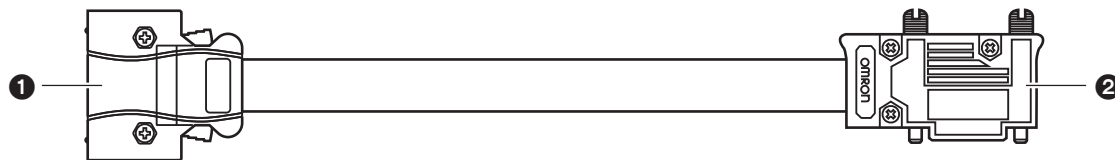
① 26P コネクタ (オス)

ハウジング部のCAMERA I/Fコネクタ [CAMERA I/F] に接続します。

② D-SUB 15Pコネクタ (メス)

AK-HC900シリーズのI/Fコネクタ [CAMERA I/F] に接続します。

<AK-HC1500用ケーブル> (VEEB0178)



① 26P コネクタ (オス)

ハウジング部のCAMERA I/Fコネクタ [CAMERA I/F] に接続します。

② 高密度D-SUB 15Pコネクタ (オス)

AK-HC1500のI/Fコネクタ [I/F] に接続します。

取り付けかた

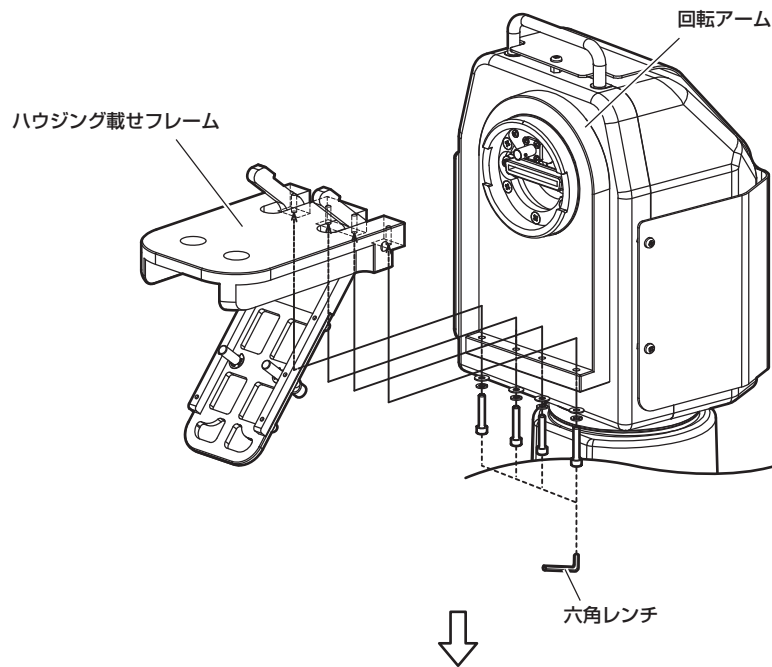
■ハウジング載せフレームの取り付けかた

本体部の回転アームにハウジング載せフレーム（付属品）を取り付けます。

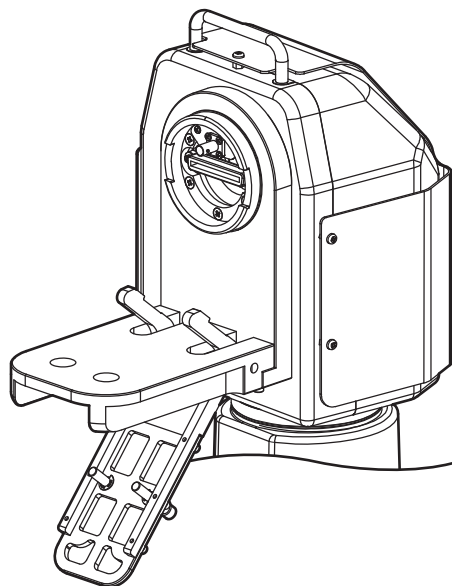
① 下図のように回転アームにハウジング載せフレームを取り付けます。

ねじは必ず、平ワッシャー、スプリングワッシャー（付属品）と一緒に取り付けてください。

・ 付属の六角レンチを使って、4本すべてが緩みのないよう確実に取り付けてください。



<取り付け状態>

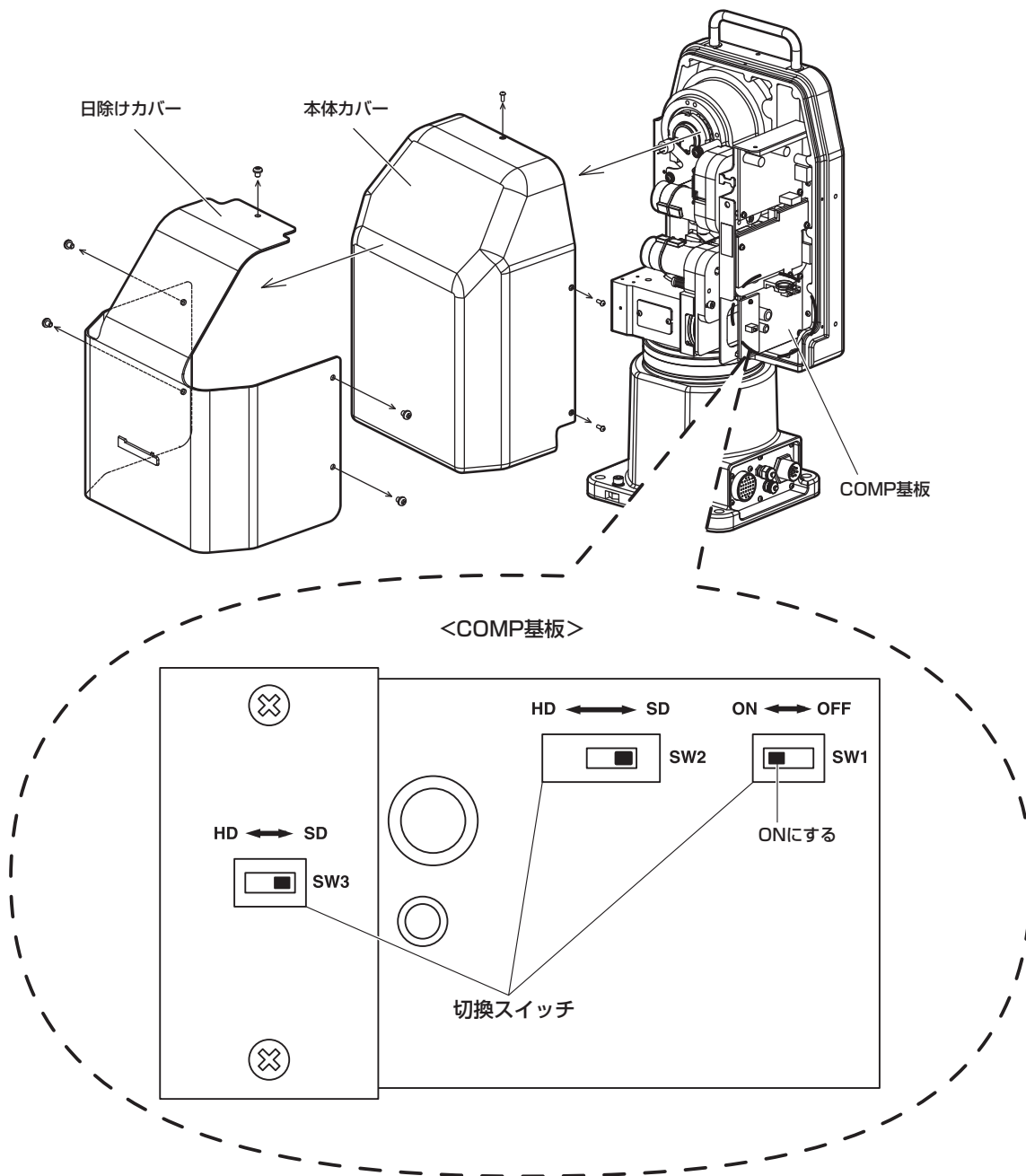


取り付けかた

■ケーブル補償回路の設定

回転台とコントローラーを接続した場合の各接続ケーブルの長さは、10BASE-Tストレートケーブル（UTPカテゴリー 5）および同軸ケーブル（5C-2V）で1000 mまで許容されていますが、500 mを超えて使用する場合は、次の手順でケーブル補償回路をONに設定してください。（出荷時の設定はOFF）

- ① 直射日光を避けるための日除けカバーの取付ねじ（5本）を外し、カバーを外してください。
- ② 回転台本体カバーの取付ねじ（5本）を外し、カバーを外してください。
- ③ 内部のCOMP基板のSW1をONにしてください。
- ④ 本体カバー、日除けカバーを元に戻し、それぞれ取付ねじでしっかりと固定してください。

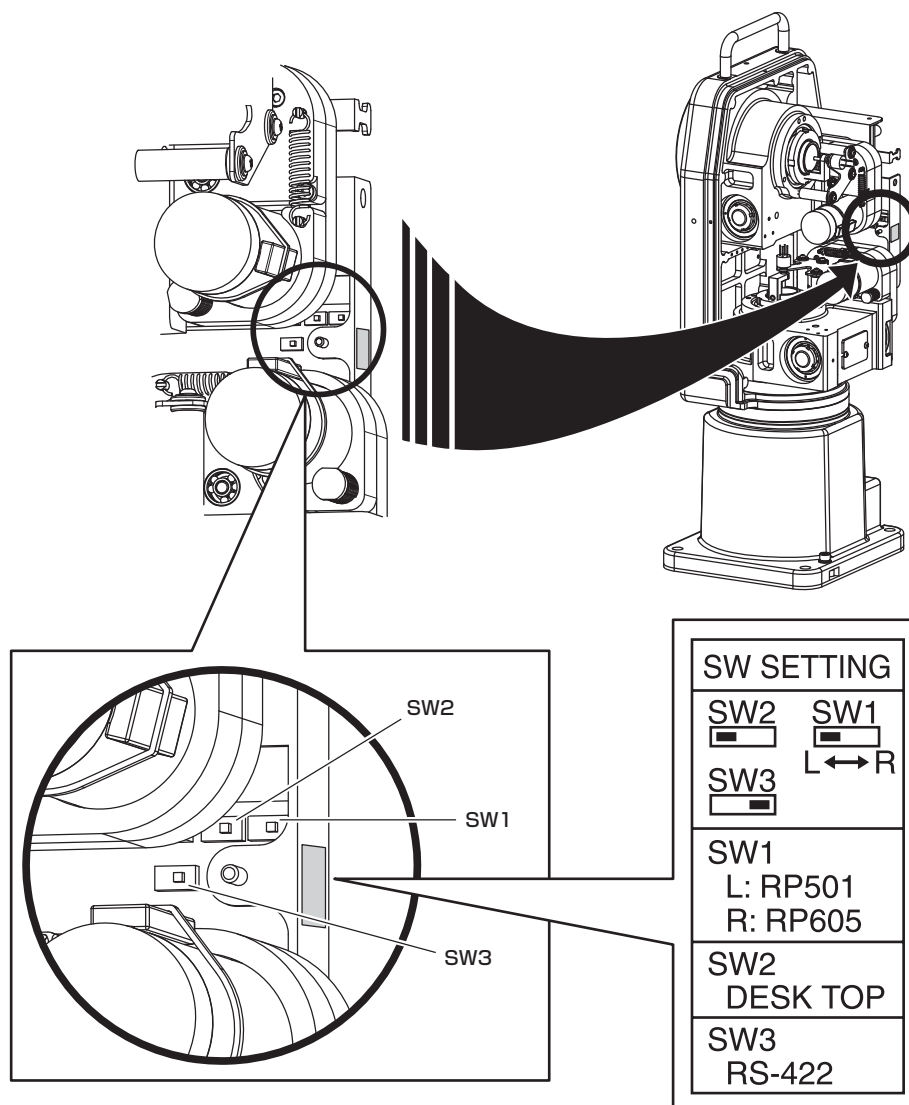


AK-HC910を使用して、HDアナログコンポーネント信号を伝送する場合には、SW2、SW3をHD側にしてください。このとき、SW1をONにしてもケーブル補償回路は動きませんので、OFFでご使用ください。

取り付けかた

■CPU基板のスイッチ設定

CPU基板のスイッチSW1、SW2、SW3を次のようにセットしてください。



① SW1 (ランディング特性の切換スイッチ)

- ソフトランディングの場合 : SW1を左側 (RP501) にセットします。(出荷状態)
- ジャストランディングの場合 : SW1を右側 (RP605) にセットします。

② SW2

切り換えしないでください。DESK TOPのポジションで使用してください。

③ SW3

切り換えしないでください。RS-422のポジションで使用してください。

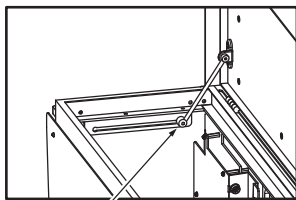
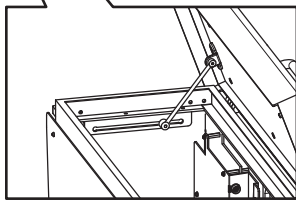
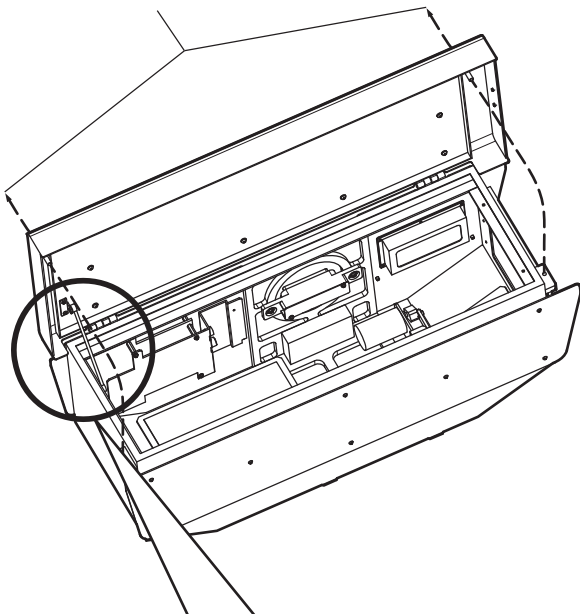
- スイッチ設定を行うときは、回転台に接続するACアダプターの電源を必ずOFFにして行ってください。
- スイッチ設定は、スイッチを切り換えただけでは変更されません。スイッチを切り換えた後、再度電源を入れたときに変更されます。

取り付けかた

■カメラの取り付けかた

① 上カバー開閉ボルトを緩めて、上カバーを開けます。

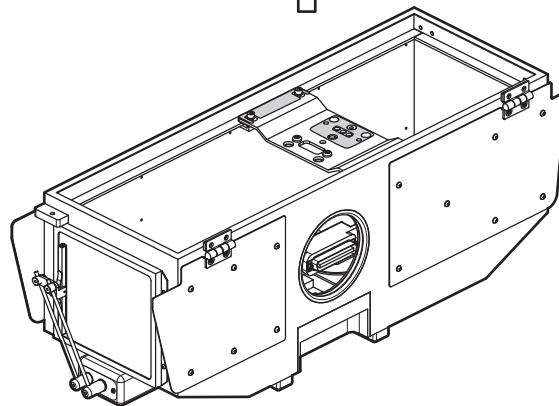
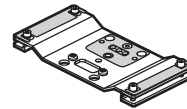
上カバー開閉ボルトを緩める



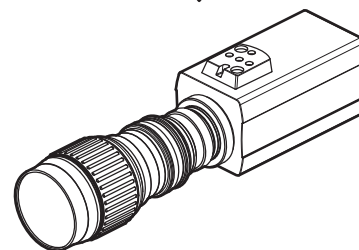
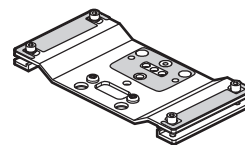
支持アームを完全に溝に入れます

※ 支持アームが完全に溝に入るまで上カバーを開けてください。
アームの位置が途中の位置では、上カバーのロックができないのでご注意ください。

② カメラ取付マウントを外します。




③ 各カメラをカメラ取付マウントに取り付けます。

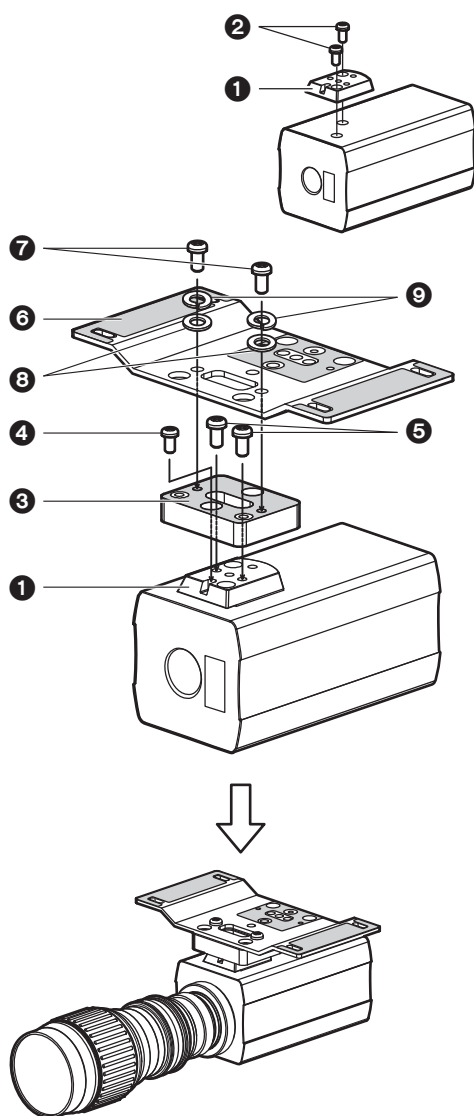


※ 各カメラとマウントの取り付けかたは、次ページ以降を参照ください。

取り付けかた

<カメラがAW-E350、AW-E650の場合>


- ① カメラの天面側に取付アダプター **①** (カメラの付属品) を、カメラに付属のねじ **②** 2本で取り付けます。
- ② カメラ取付スペーサ **③** に、位置決めねじ **④** (付属品) を取り付けます。
- ③ カメラ取付スペーサ **③** を、カメラ天面の取付アダプター **①** (カメラの付属品) にねじ **⑤** 2本 (付属品) で取り付けます。
- ④ カメラ取付マウント **⑥** をカメラ取付スペーサ **③** に、ねじ **⑦** 2本、平ワッシャー **⑧**、スプリングワッシャー **⑨** (付属品) で取り付けます。
(カメラ取付マウントの向きは  にしてください。)
- ⑤ レンズをカメラに取り付けます。
レンズのフードおよびズームレバーは外してください。

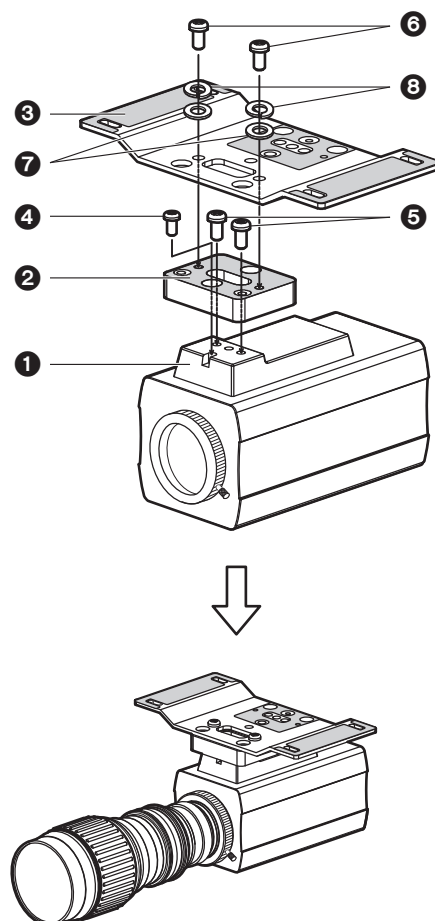


AW-E655の場合とは、カメラ取付マウントの向きが逆になります。

ねじは緩みのないよう工具で確実に締め付けてください。


<カメラがAW-E750、AW-E860の場合>

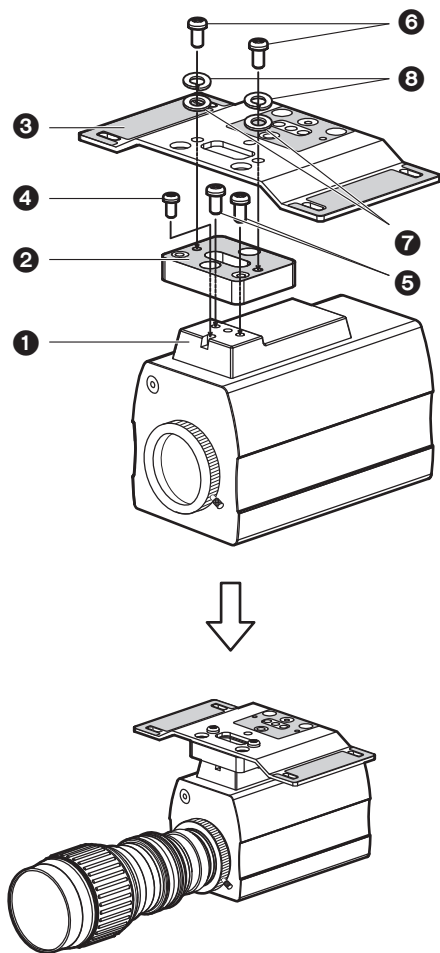
- ① カメラ取付スペーサ **②** に、位置決めねじ **④** (付属品) を取り付けます。
- ② カメラ取付スペーサ **②** を、カメラ天面のファン取付座 **①** にねじ **⑤** 2本 (付属品) で取り付けます。
- ③ カメラ取付マウント **③** をカメラ取付スペーサ **②** に、ねじ **⑥** 2本、平ワッシャー **⑦**、スプリングワッシャー **⑧** (付属品) で取り付けます。
(カメラ取付マウントの向きは  にしてください。)
- ④ レンズをカメラに取り付けます。
レンズのフードおよびズームレバーは外してください。




取り付けかた

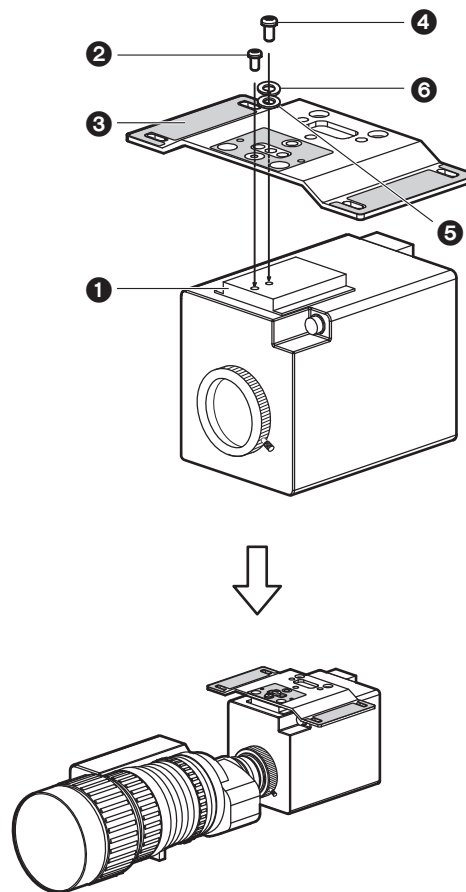
<カメラがAW-E655の場合>

- ① カメラ取付スペーサ②に、位置決めねじ④（付属品）を取り付けます。
- ② カメラ取付スペーサ②を、カメラ天面のファン取付座①にねじ⑤2本（付属品）で取り付けます。
- ③ カメラ取付マウント③をカメラ取付スペーサ②に、ねじ⑥2本、平ワッシャー⑦、スプリングワッシャー⑧（付属品）で取り付けます。
（カメラ取付マウントの向きは「」にしてください。）
- ④ レンズをカメラに取り付けます。
レンズのフードおよびズームレバーは外してください。



<カメラがAK-HC910の場合>

- ① カメラ取付マウント③に、位置決めねじ②1本（付属品）を取り付けます。
- ② カメラ取付マウント③をカメラ天面のファン取付部①に、ねじ④1本、平ワッシャー⑤、スプリングワッシャー⑥（付属品）で取り付けます。（カメラ取付マウントの前後方向の向きは、コンバーチブルカメラとは逆になります。また、上下の向きは「」にしてください。）
- ③ レンズをカメラに取り付けます。
レンズのフードおよびズームレバーは外してください。




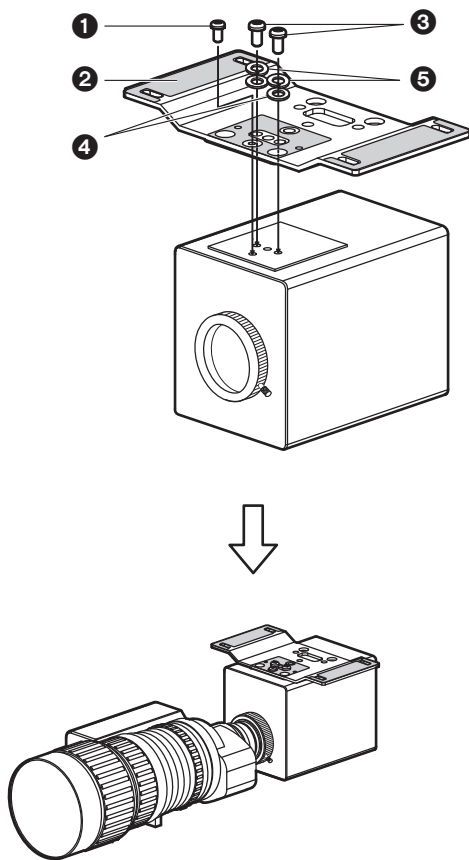
AW-E750、AW-E860の場合とは、カメラ取付マウントの向きが逆になります。

ねじは緩みのないよう工具で確実に締め付けてください。

取り付けかた

<カメラがAK-HC1500の場合>

- ① カメラ取付マウント②に、位置決めねじ①（付属品）を取り付けます。
- ② カメラ取付マウント②を、ねじ③2本、平ワッシャー④、スプリングワッシャー⑤（付属品）で取り付けます。（カメラ取付マウントの前後方向の向きは、コンバーチブルカメラとは逆になります。また、上下の向きはAK-HC910とは逆の  にしてください。）
- ③ レンズをカメラに取り付けます。
レンズのフードおよびズームレバーは外してください。



AK-HC910の場合とは、カメラ取付マウントの向きが逆になります。

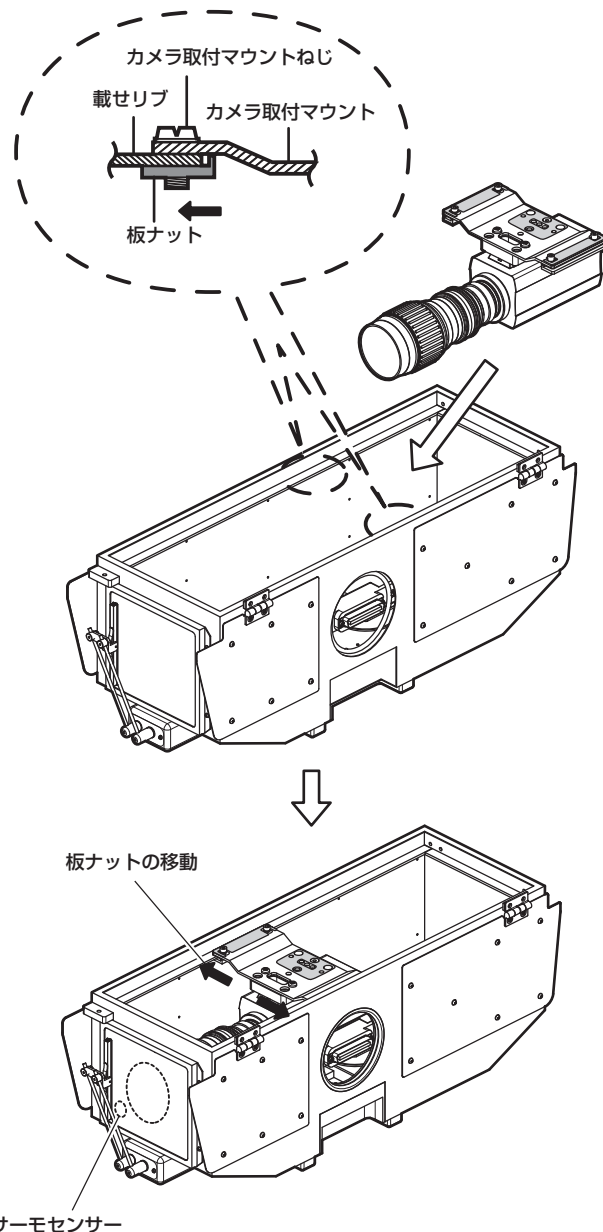
ねじは緩みのないよう工具で確実に締め付けてください。

取り付けかた

<通常レンズの場合>

- ① カメラ取付マウントを取り付けたカメラの、カメラ取付マウントと板ナットの間にハウジングの載せリブを挟み、カメラ取付マウントねじで仮固定します。
- ② カメラおよびレンズとハウジング内部をケーブルで接続します。
- ③ 接続が完了したらカメラ取付マウントねじを緩め、レンズ先端とガラス内面とをできるだけ近づくよう、カメラ全体を移動させます。尚、下記の点にご注意ください。
 - (1) ズーム動作による最大繰り出し時に、レンズとガラスが当たらない位置にしてください。
 - (2) ガラス内面とレンズガラス面がほぼ平行になり、またサーモセンサーとレンズが当たらないことを確認してください。
- ④ すべてのセッティングが完了したら、板ナットを矢印方向に移動させ、板ナットと取付マウントの間に載せリブを確実に挟んで、カメラ取付マウントの取付ねじ(4本)を確実に締め付けてください。
- ⑤ 上カバーを閉じて、上カバー開閉ボルト2本を確実に締め付けてください。

ポータブルレンズ(グリップ付きタイプ)は、使用できません。



取り付けかた

<大型レンズの場合>

AK-HC910またはAK-HC1500に、大型レンズを取り付けて、ハウジング内に収納して使用することができます。その場合は、下記の順序に従い、取り付けてください。

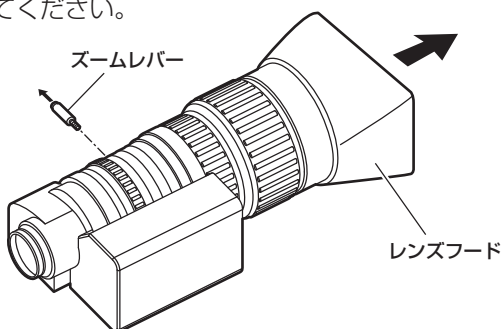
大型レンズとしては、下記のものを使用してください。

フジノン（株）製 HA42 × 13.5 BERD
A42 × 13.5 BERD
キャノン（株）製 HJ40 × 14B IASD-V
J35e × 15B IASD

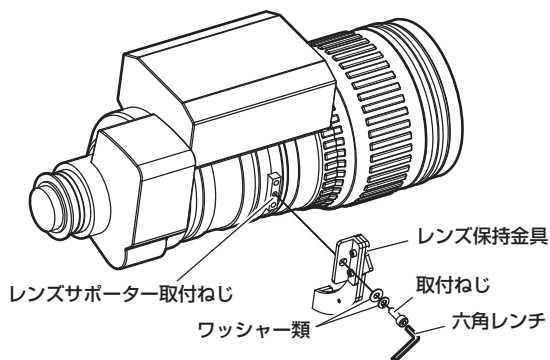
以上のレンズ以外は使用できません。

■取り付けかた

- ① 大型レンズのレンズフードおよびズームレバーを取り外してください。



- ② レンズの底面にある、レンズサポーター取付ねじにレンズ保持金具（付属品）を取り付けてください。

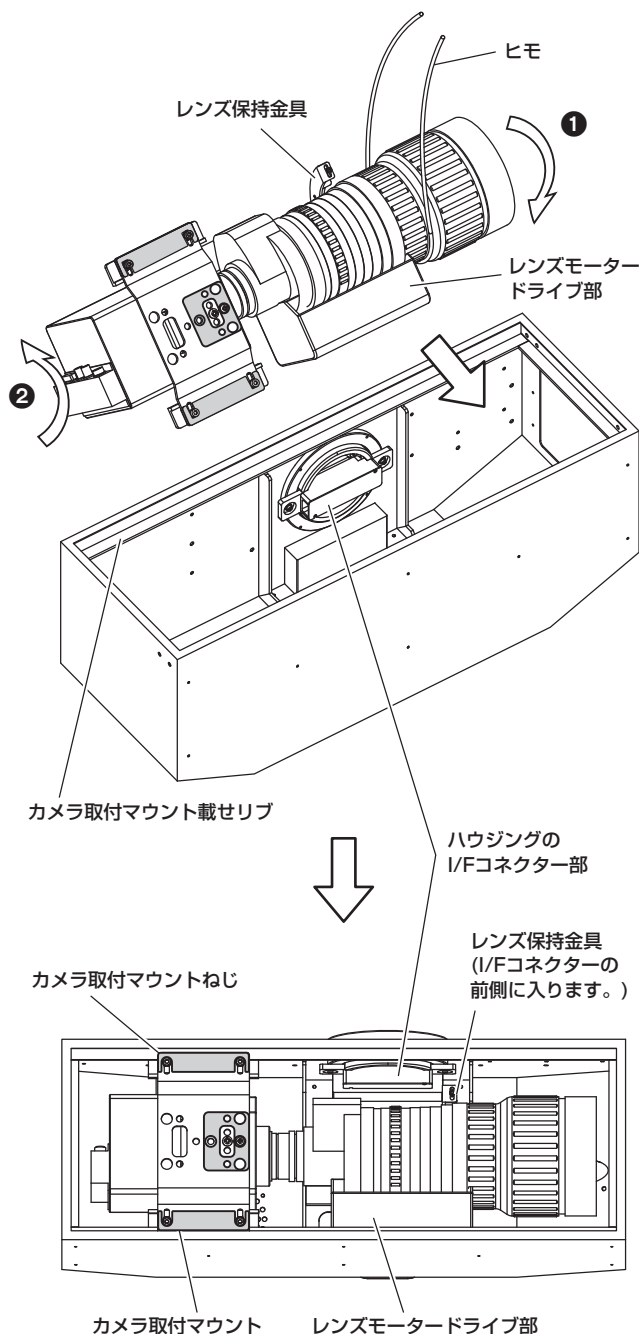


取付ねじ（付属品）は、フジノンレンズ用はM6、キャノンレンズ用はM5です。



- ③ カメラとレンズを結合させます。
カメラの天面に、カメラ取付マウントを取り付けます。取付方法は、各カメラとマウントとの取り付けかたの項を参照ください。
- ④ カメラ背面のI/F REMOTEコネクタに付属のカメラケーブルを接続してください。

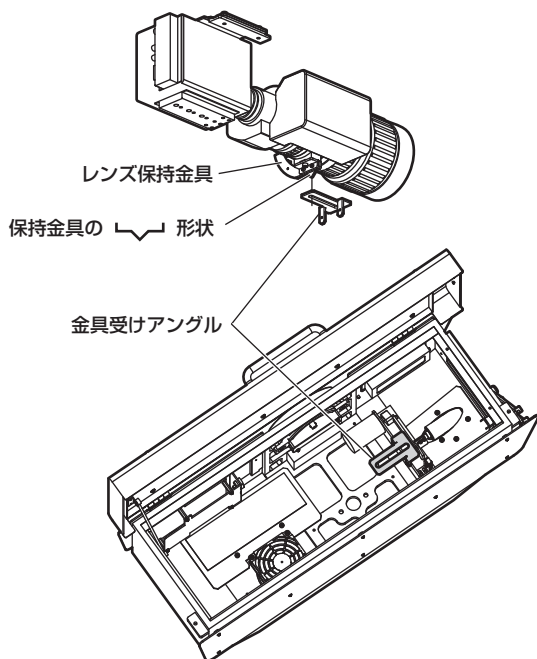
収納後のケーブル接続を簡単にするために、大型レンズを使用する場合は、ここで必ずこの接続をしておいてください。

- ⑤ カメラ取付マウント・カメラ・大型レンズの組み上り品を、レンズ先端側よりハウジング内に入れます。レンズの鏡胴部にヒモ（付属品）を引っ掛けハウジング内に収納してください。このとき、組み上り品を、下図のように約45° (①) ほど傾けて、手前のレンズモータードライブ部側はハウジングの内側いっぱい、レンズ保持金具は、I/Fコネクタ部の前に位置させ、レンズ前側より斜めに入れます。レンズ部を収めた後、傾いているカメラ部を元に戻し (②)、カメラ取付マウントをハウジングの両側の載せリブに当てがい、板ナットとマウントの間に載せリブをはめ込みます。

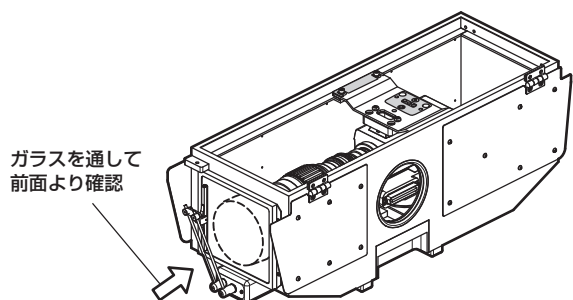
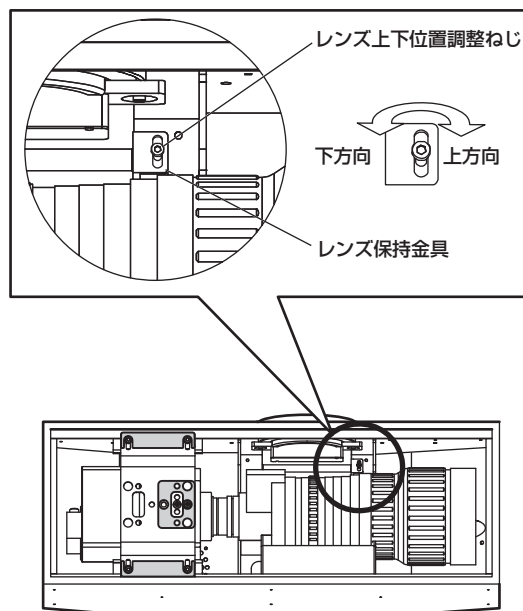


取り付けかた

⑥ レンズ底面に取り付けた、レンズ保持金具の  部がハウジング内の金具受けアングルの  孔に入っているかを確認してください。もし入っていない場合には、レンズを少し持ち上げて、もう一度入れ直してください。

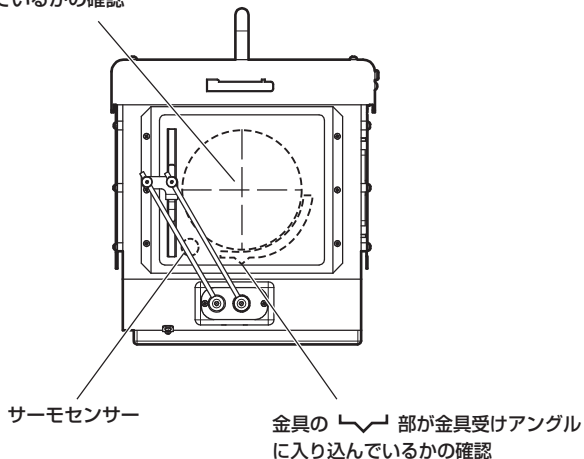


さらに、レンズの中心とガラスの中心が合っているか、ハウジングの前面より見て確認してください。もし、大きくずれていたら、レンズ保持金具のレンズ上下位置調整ねじを回して、レンズの位置を上または下に移動させてください。(レンズの位置は、右に回すと上側へ、左に回すと下側へ移動します。)



⑦ カメラおよびレンズとハウジング内をケーブルで接続します。
(接続のしかたの項を参照ください。)

レンズの中心とガラスの中心とが合っているかの確認



⑧ レンズ先端とガラス内面とは、できるだけ近づけてください。尚、下記の点にご注意ください。
(1) ズーム動作による最大繰り出し時に、レンズとガラスが当たらない位置にしてください。
(2) ガラス内面とレンズガラス面がほぼ平行になり、またサーモセンサーとレンズが当たらないことを確認してください。

⑨ すべてのセッティングが終わりましたら、カメラ取付マウントねじ (4本) を確実に締め付けてください。

⑩ 上カバーを閉じて、上カバー開閉ボルト2本を確実に締め付けてください。

取り付けかた

■ハウジングの取り付けかた

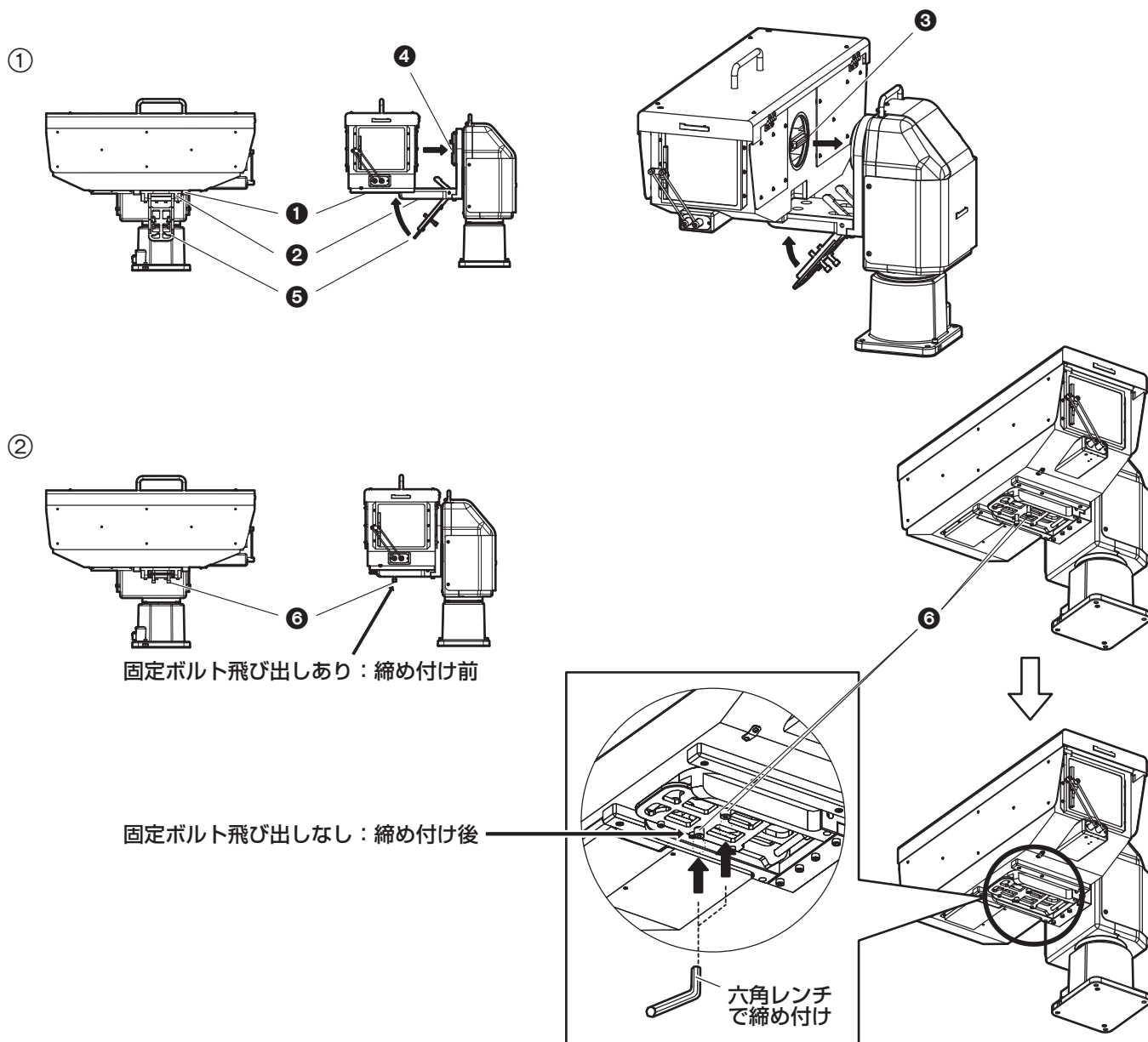
① ハウジング底面の取付レール(①)を、本体側のハウジング載せフレーム(②)に合わせて載せます。

ハウジングを奥に移動させ、ハウジング側のI/Fコネクター(③)を本体側のI/Fコネクター(④)に矢印方向へ押し込みます。さらに、ハウジング載せフレームの下側のロックレバー(⑤)を、矢印方向(上側)に移動させ、コネクターを完全に差し込みます。

※ハウジングの落下防止のため、ハウジング載せフレームの上に乗せたハウジングは、すぐにロックレバーを操作して本体側のI/Fコネクターに完全に差し込んでください。中途半端の状態では、ハウジングが脱落、落下する恐れがあります。

② ハウジング載せフレーム(②)のハウジング固定ボルト(2本)(⑥)を底面側より手で仮締めし、さらに付属の六角レンチで確実に締め付けてハウジングを固定してください。

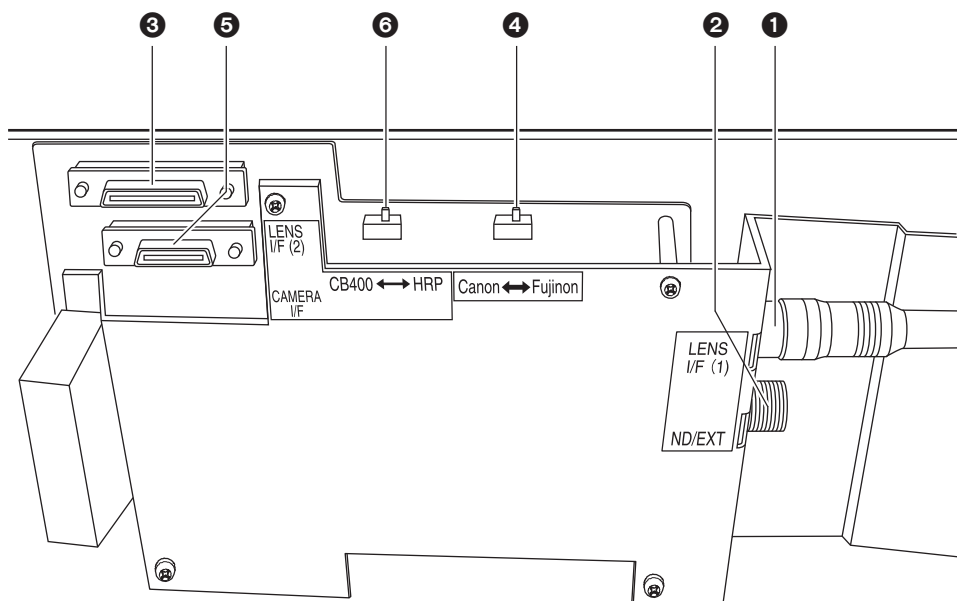
※固定ボルトの締め付けが不十分だと、ハウジングが脱落、落下したり、所定の動作、性能が確保できませんので、2本とも確実に固定してください。



接続のしかた

■ハウジング内のコネクタについて

下図に示すコネクタがハウジング内部にありますので、各カメラの接続説明を確認して接続してください。



① LENS I/F (1) コネクタ

電動レンズユニットのズーム／フォーカス制御用端子です。電動レンズユニットのリモート（ズーム／フォーカス）コントロールケーブルを接続します。

② ND/EXTコネクタ

電動レンズユニットのNDフィルターやレンズエクステンダー制御用端子です。NDフィルターやレンズエクステンダー機能を持つ電動レンズユニットを使用する場合に接続します。

③ LENS I/F (2) コネクタ

キャノン（株）製IASレンズ、WASレンズ、VASレンズ、またはフジノン（株）製RDレンズを使用する場合に使用します。

レンズの下から出るコネクタの位置により、収納できないレンズもあります。ご確認ください。

④ LENS I/F (2) 制御切換スイッチ [出荷設定：Fujinon]

使用するレンズに合わせてLENS I/F (2) 制御切換スイッチを切り換えてください。

Fujinon：フジノン（株）製RDレンズ

Canon：キャノン（株）製IASレンズ、WASレンズ、VASレンズ

⑤ CAMERA I/F コネクタ

カメラの制御用端子です。AW-PH650に付属のカメラケーブルでカメラREMOTE端子と接続します。

⑥ カメラ制御切換スイッチ [出荷設定：HRP]

| カメラ | スイッチ設定 | |
|--------------|------------|-----------|
| コンバーチブルカメラ | HRP | |
| AK-HC900シリーズ | HRP | |
| AK-HC1500 | HRP150から制御 | CB400から制御 |
| | HRP | CB400 |

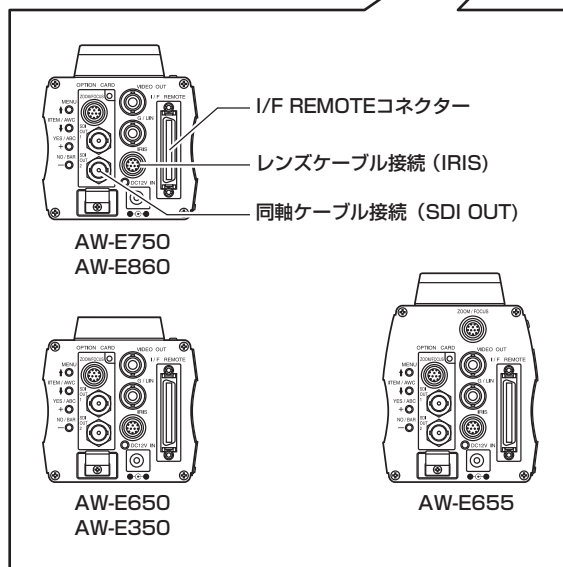
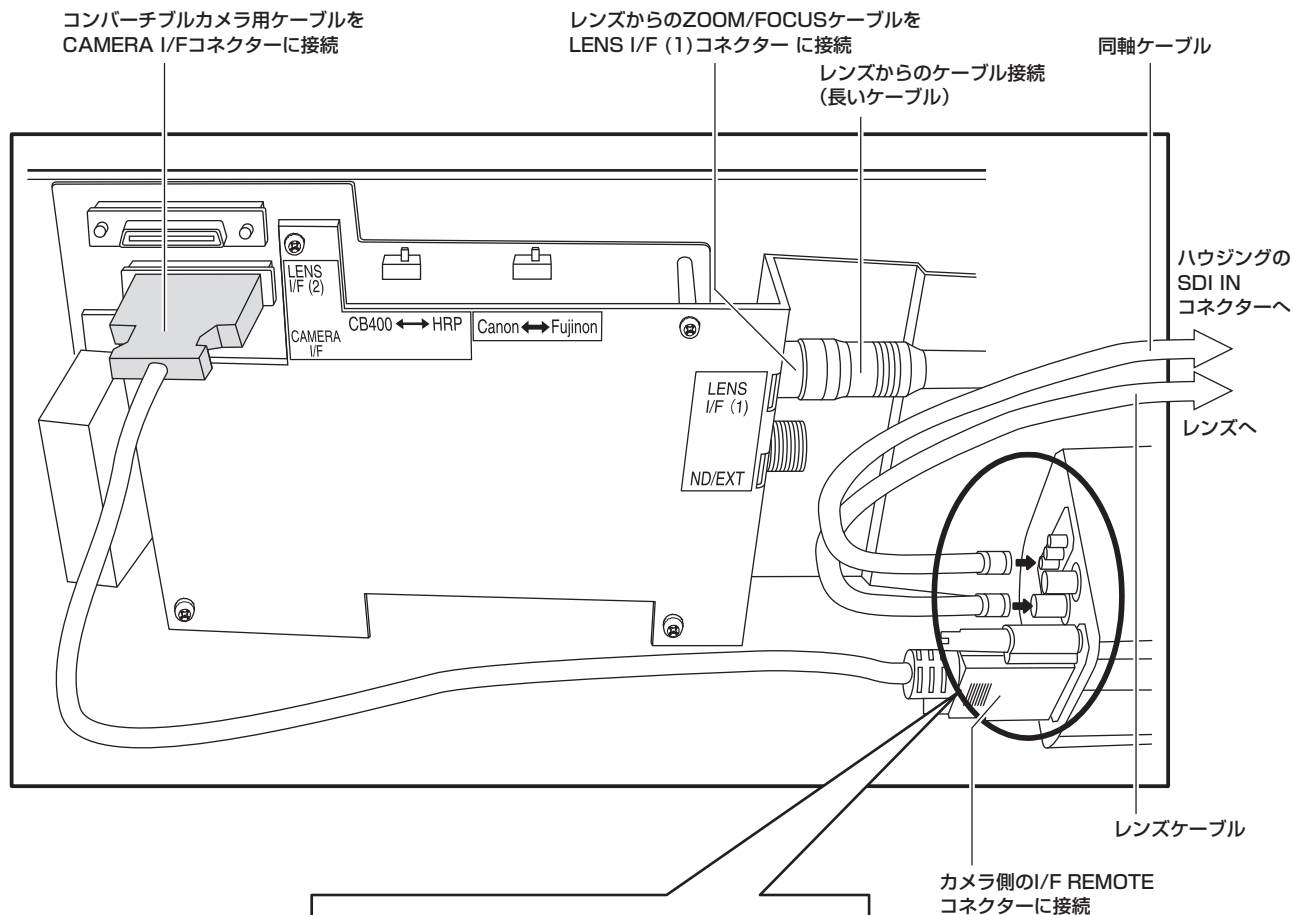
- コンバーチブルカメラを使用する場合は、「HRP」側でご使用ください。また、AK-HRP150からは制御できません。コンバーチブルカメラ用のカメラコントローラーをご使用ください。
- AK-HC900シリーズを使用する場合は、「HRP」側でご使用ください。また、AW-CB400からは制御できません。AK-HRP150をご使用ください。
- AK-HC1500を使用する場合は、使用するカメラコントローラーによりスイッチを切り換える必要があります。AK-HRP150から制御する場合は、「HRP」側で、AW-CB400から制御する場合は、「CB400」側でご使用ください。

接続のしかた

■カメラとハウジングの接続

1. コンバーチブルカメラとの接続

- ① 接続には付属のカメラケーブルをご使用ください。
- ② 同軸ケーブル（約1 m）はご準備ください。（太さ3C-FB相当）
- ③ 接続が完了したら、ケーブルを束線バンド（付属品）で束ねて、ヒーターやファンに近づかないようにしてください。



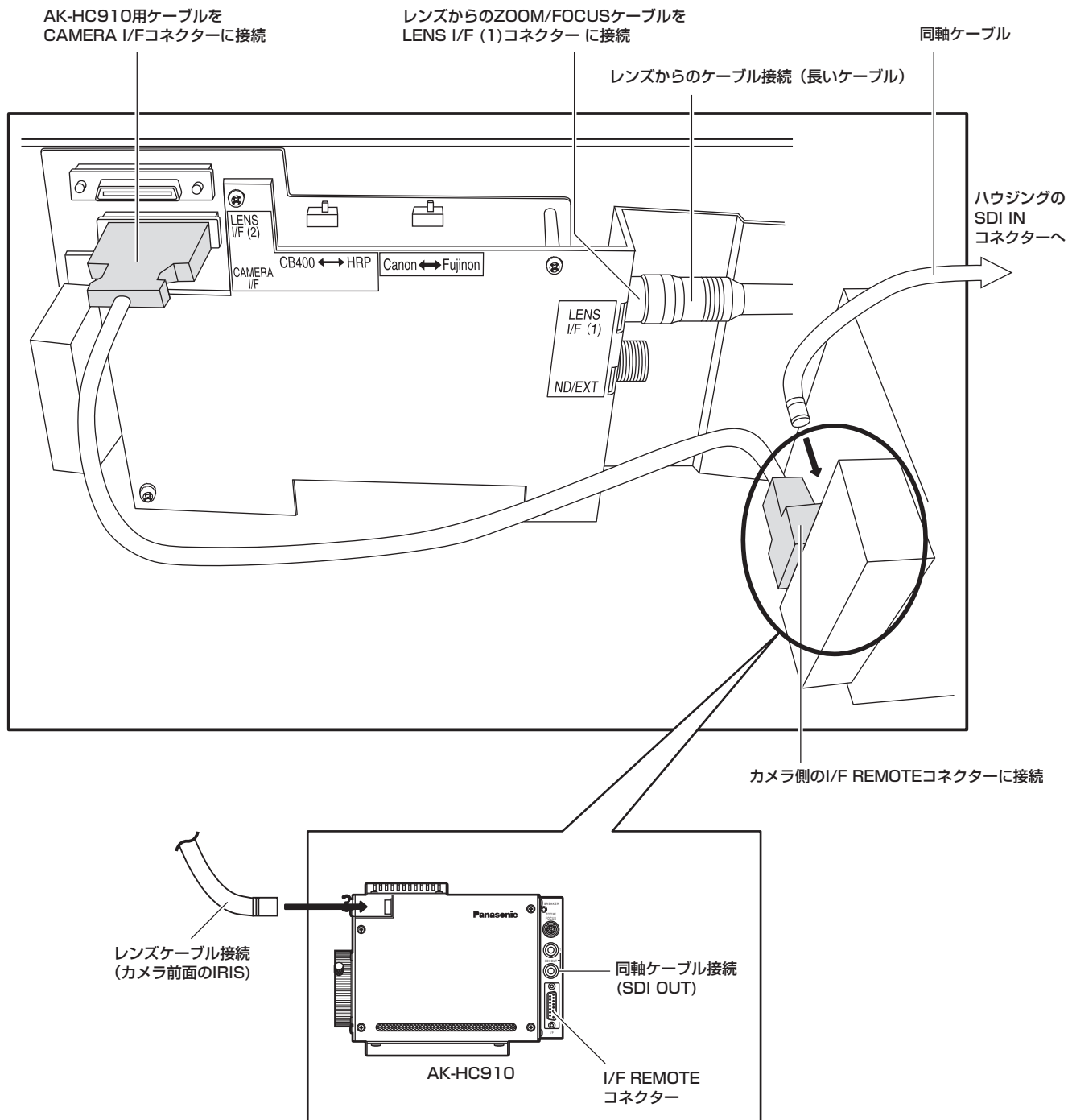
SDI信号を出力する場合は、カメラにSDIカードを取り付ける必要があります。

接続のしかた

2. AK-HC910シリーズとの接続

接続をしやすくするために、カメラ側のI/F REMOTEコネクタを先に接続してから、カメラを収納してください。
(特に大型レンズをご使用の場合には、収納する前に必ず接続してください。)

- ① 接続には付属のカメラケーブルをご使用ください。
- ② 同軸ケーブル (約1 m) はご準備ください。(太さ3C-FB相当)
- ③ 接続が完了したら、ケーブルを束線バンド (付属品) で束ねて、ヒーターやファンに近づかないようにしてください。

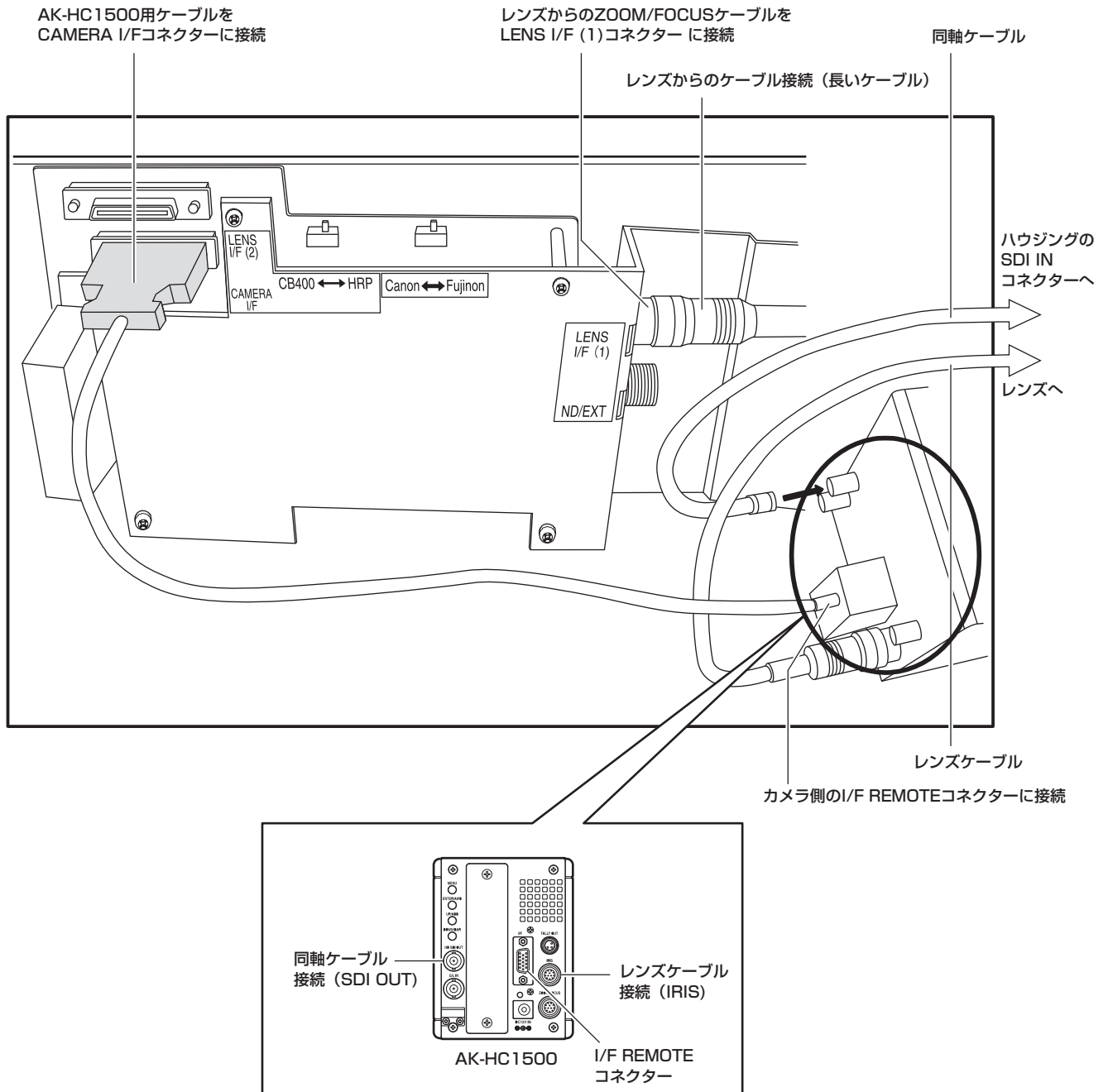


接続のしかた

3. AK-HC1500との接続

接続をしやすいように、カメラ側のI/F REMOTEコネクタを先に接続してから、カメラを収納してください。
(特に大型レンズをご使用の場合には、収納する前に必ず接続してください。)

- ① 接続には付属のカメラケーブルをご使用ください。
- ② 同軸ケーブル (約1 m) はご準備ください。(太さ3C-FB相当)
- ③ 接続が完了したら、ケーブルを束線バンド (付属品) で束ねて、ヒーターやファンに近づかないようにしてください。



接続のしかた

■AK-HC1500をAW-CB400から制御する場合の注意事項

AK-HC1500は、AK-HRP150の プロトコル および AW-CB400のプロトコルに対応していますが、出荷時はAK-HRP150のプロトコルに設定されています。AW-CB400を使ってAK-HC1500を制御する場合は、以下の手順に従い、AK-HC1500のプロトコルをAK-HRP150からAW-CB400に切り換えてください。

●設置前にプロトコルを切り換える場合

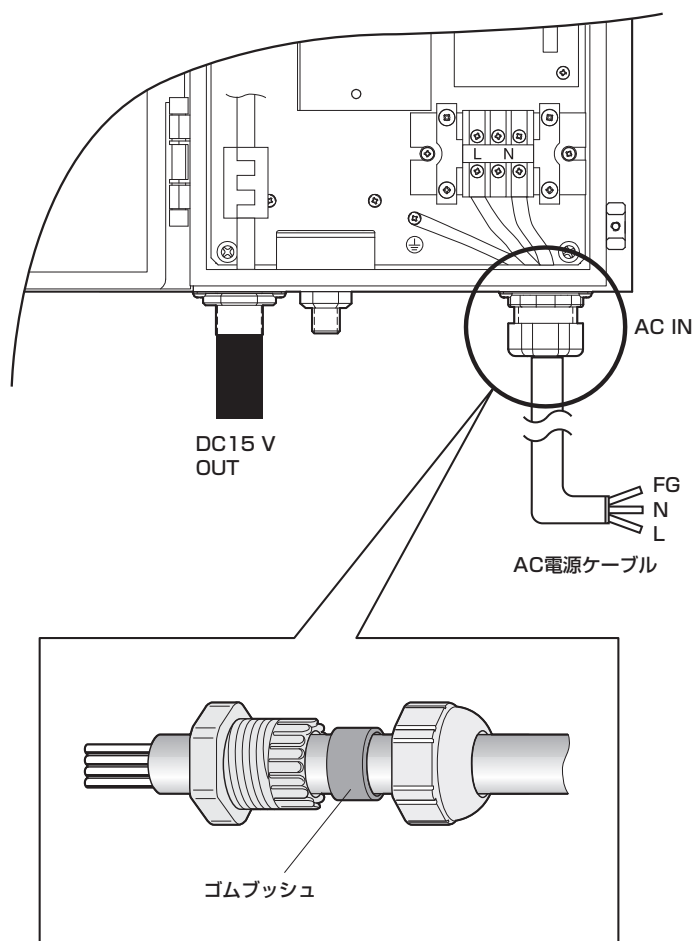
AK-HC1500の取扱説明書を参照し、プロトコルを切り換えてください。

●設置後にプロトコルを切り換える場合

- ①本書『取り付けかた』に従って設置します。
- ②カメラハウジングの上カバー開閉ボルト（2箇所）を緩め、上カバーを開けます。
- ③ACアダプター部の電源スイッチをONにします。
- ④AK-HC1500の電源がONになりましたら、AK-HC1500の取扱説明書を参照し、プロトコルを切り換えます。（SETTINGメニューの「PROTOCOL」を「4」に切り換えます。）
- ⑤ACアダプター部の電源スイッチをOFFにします。

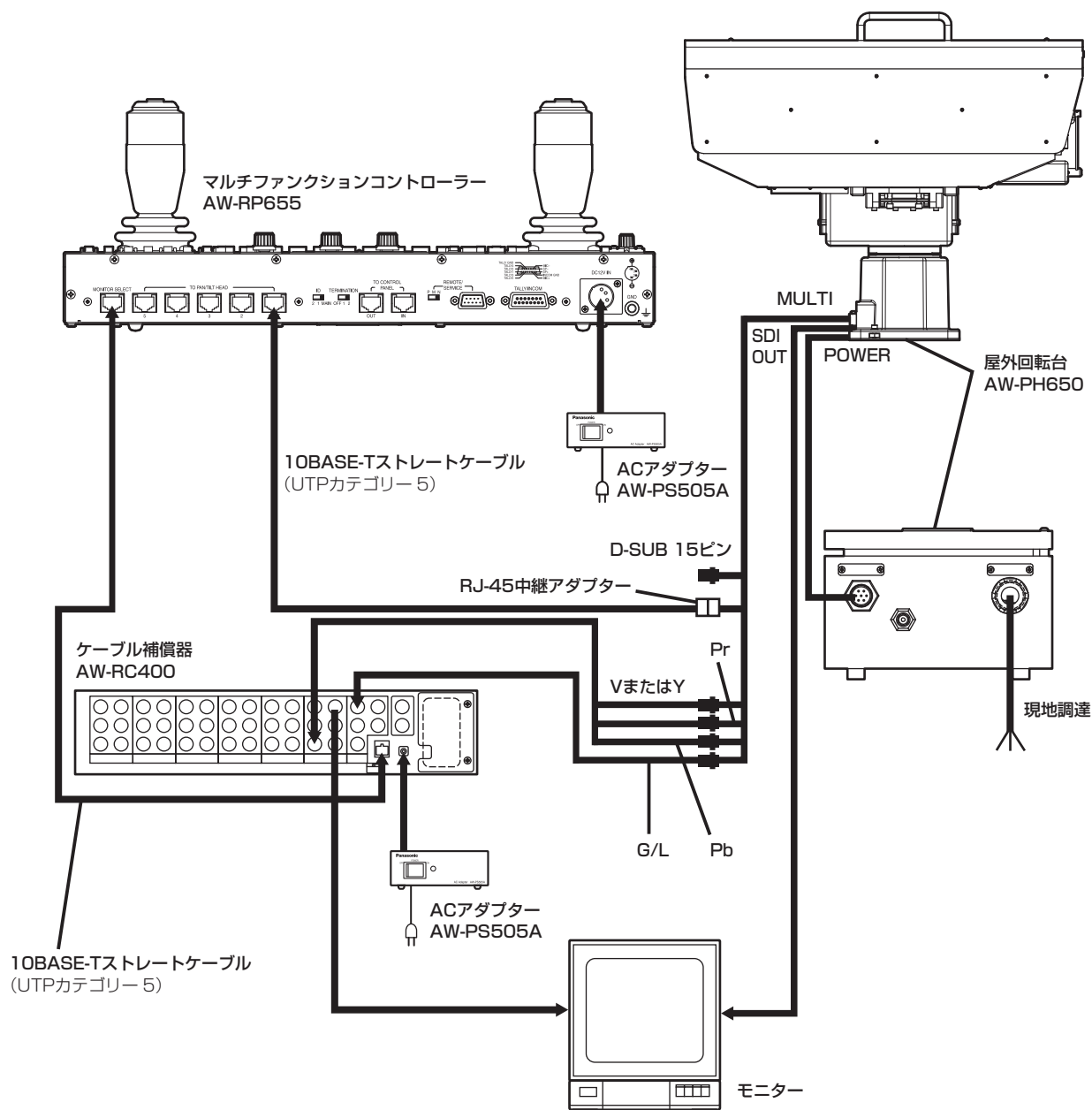
■ACアダプターの接続

- あらかじめ取り付けられているAC電源入力ケーブルを外してください。
- ケーブルは現地調達となります。屋外用防水型ケーブルをご使用ください。
- ケーブル容量は、十分余裕のあるものをご使用ください。（AC 100 V、2 A 以上）
- AC電源入力ケーブル用ゴムブッシュを通し、雨水や水滴が浸入しないよう、しっかり締めてください。
[適合ケーブルの太さ：φ6.5～φ8.5 (mm)]
- 電源ライン（N、L）は、端子台に取り付けてください。
- アースライン（FG）は、アースねじ（⊕）で取り付けてください。



接続のしかた

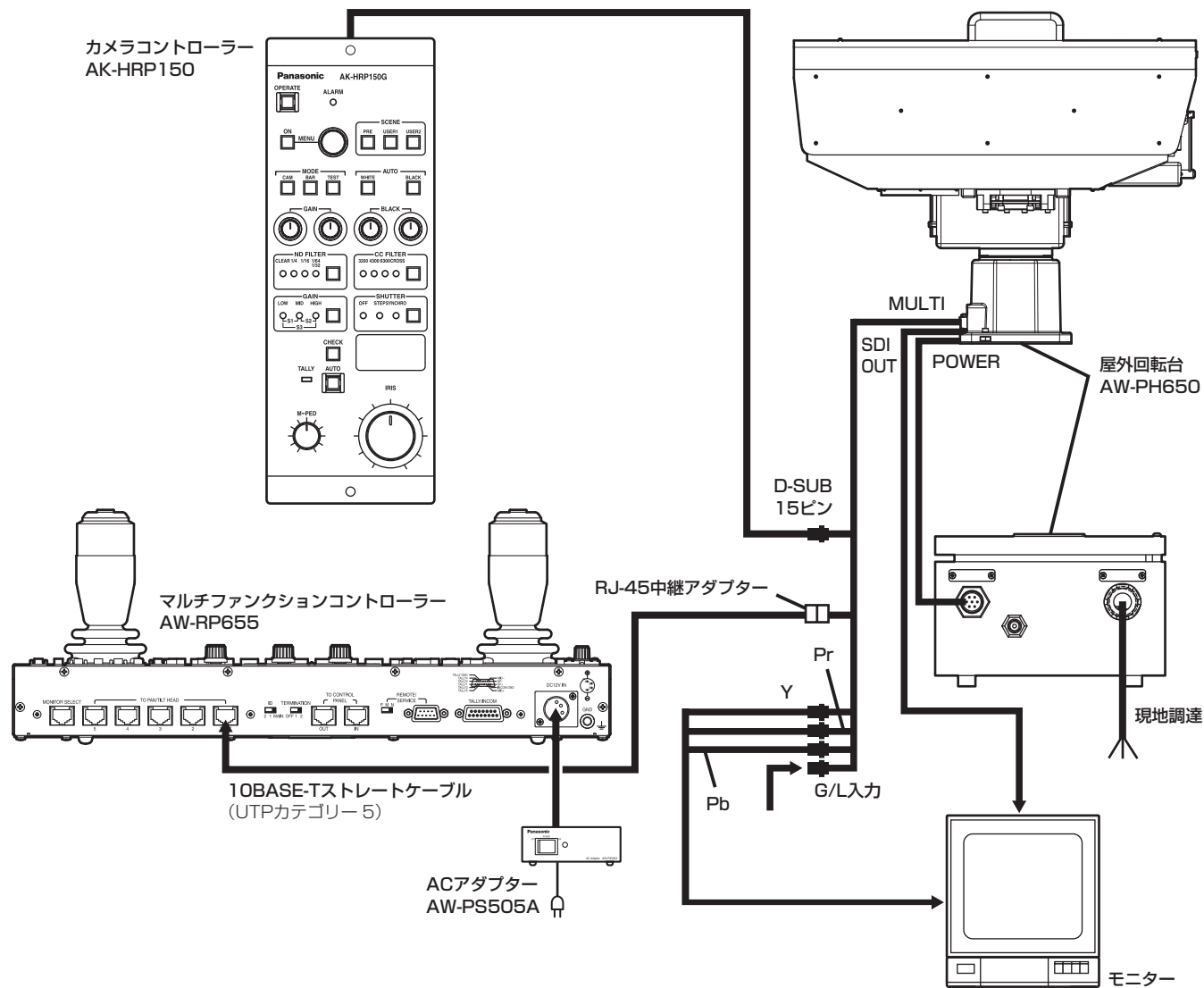
■コンバーチブルカメラを使用する場合の接続例



コントローラーとして、AW-RP555を使用することもできます。

接続のしかた

■マルチパーパスカメラを使用する場合の接続例



● AK-HC910を使用する場合の注意事項

AK-HC910は、HD-SDI信号とY/PB/PR信号が出力可能ですが、Y/PB/PR信号を本線として使用する場合は、SDI IN/OUT端子は接続しないでください。

HD-SDI信号を本線として使用する場合のみ、SDI OUT端子を接続してください。

<アイリスの制御について>

| アイリス動作 | AW-RP655 | AK-HRP150 |
|------------------|------------|-----------|
| AUTO | AUTO | AUTO |
| AK-HRP150 MANUAL | AUTO | MANUAL |
| AW-RP655 MANUAL | MANUAL (※) | — |

※プリセットおよびトレーシングメモリーを使用する際は、「MANUAL」でご使用ください。

- AK-HRP150とAW-RP655のアイリス制御は連動していないため、制御するコントローラーを切り換えた後、最初に操作する際に大きく変化することがあります。
- AW-RP655の「IRISインジケータ」は、カメラからアイリスのデータを取り込む場合のみ表示でき、取り込めない場合には「CLOSE」表示または何も表示しませんが、アイリスの制御に支障はありません。
- AK-HC1500を使用する場合、Y/PR/PBからは何も出力されません。

リミッターについて

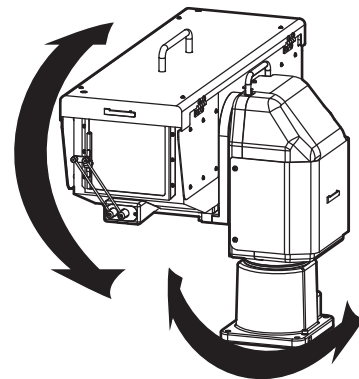
使用する前に、必ずリミッター（可動範囲）の設定を行ってください。
設置場所によっては、可動範囲内に障害物がありカメラが接触する場合があります。

カメラが障害物に接触していると故障や事故の原因になります。
このような場合、障害物の手前でリミッターを設定することにより接触を防ぐことができます。

リミッターの設定は、マルチファンクションコントローラー（AW-RP655）の操作により行います。

リミッターの位置は、可動範囲の上限・下限・左端・右端の4箇所が設定できます。

一度設定されたリミッター位置は、電源を切っても消えません。



■リミッターの設定

● 可動範囲の上限位置の設定

1. コントローラーを操作し、上限位置としたい位置までカメラを回転します。
2. コントローラーのOKボタンを押したまま、TRACING/PRESET MEMORYボタンの47↑を押してください。
3. TRACING/PRESET MEMORYボタンの41 [LIMIT ON] が点灯すると設定完了です。
4. コントローラーを操作し、上限位置が正しく設定されたか確認してください。

● 可動範囲の下限位置の設定

1. コントローラーを操作し、下限位置としたい位置までカメラを回転します。
2. コントローラーのOKボタンを押したまま、TRACING/PRESET MEMORYボタンの46↓を押してください。
3. TRACING/PRESET MEMORYボタンの41 [LIMIT ON] が点灯すると設定完了です。
4. コントローラーを操作し、下限位置が正しく設定されたか確認してください。

● 可動範囲の左端位置の設定

1. コントローラーを操作し、左端位置としたい位置までカメラを回転します。
2. コントローラーのOKボタンを押したまま、TRACING/PRESET MEMORYボタンの44←を押してください。
3. TRACING/PRESET MEMORYボタンの41 [LIMIT ON] が点灯すると設定完了です。
4. コントローラーを操作し、左端位置が正しく設定されたか確認してください。

● 可動範囲の右端位置の設定

1. コントローラーを操作し、右端位置としたい位置までカメラを回転します。
2. コントローラーのOKボタンを押したまま、TRACING/PRESET MEMORYボタンの45→を押してください。
3. TRACING/PRESET MEMORYボタンの41 [LIMIT ON] が点灯すると設定完了です。
4. コントローラーを操作し、右端位置が正しく設定されたか確認してください。

リミッターについて

■リミッターの解除

設定されているリミッター位置を以下の操作で解除することができます。

● 可動範囲の上限位置の解除

1. コントローラーのOKボタンを押したまま、TRACING/PRESET MEMORYボタンの47↑を押してください。
2. TRACING/PRESET MEMORYボタンの50 [LIMIT OFF] が点灯すると解除完了です。

● 可動範囲の下限位置の解除

1. コントローラーのOKボタンを押したまま、TRACING/PRESET MEMORYボタンの46↓を押してください。
2. TRACING/PRESET MEMORYボタンの50 [LIMIT OFF] が点灯すると解除完了です。

● 可動範囲の左端位置の解除

1. コントローラーのOKボタンを押したまま、TRACING/PRESET MEMORYボタンの44←を押してください。
2. TRACING/PRESET MEMORYボタンの50 [LIMIT OFF] が点灯すると解除完了です。

● 可動範囲の右端位置の解除

1. コントローラーのOKボタンを押したまま、TRACING/PRESET MEMORYボタンの45→を押してください。
2. TRACING/PRESET MEMORYボタンの50 [LIMIT OFF] が点灯すると解除完了です。

■リミッターの再設定

「リミッターの設定」と「リミッターの解除」の操作は、同一操作で交互に機能します。再設定をするには、現在設定されている設定を解除して再度設定することになります。

設定されているリミッター位置を以下の操作で再設定することができます。

1. 再設定したいリミッター位置の設定を、「リミッターの解除」で解除してください。
2. 「リミッターの設定」で、リミッター位置を設定してください。

消耗品の交換

■電池の交換

電池の寿命は、約5年です。

本機は、プリセット位置やリミッターなどのデータを記憶しています。これらのデータは、電源を切っても保存されていますが、内蔵の電池が寿命となった場合は、電源を切るとデータが失われます。

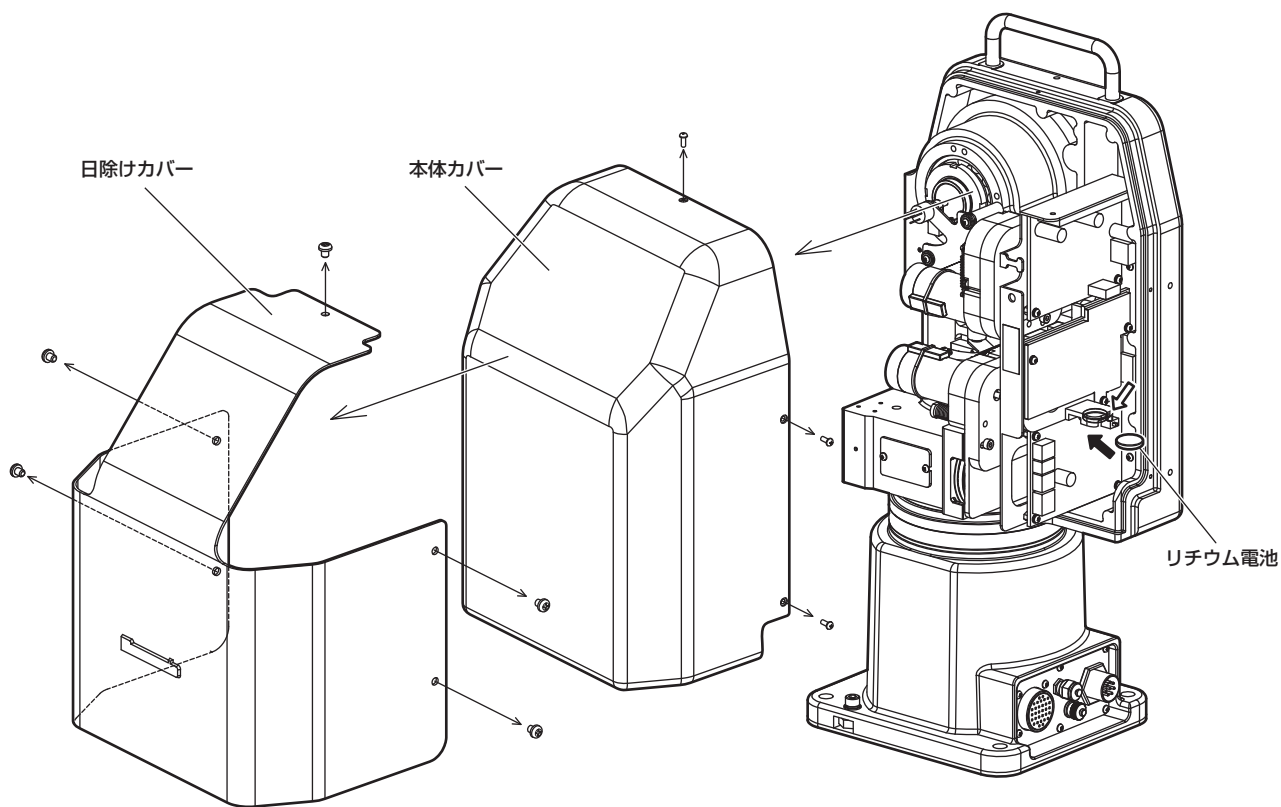
電池が効力を失った場合は、電池を交換してください。(使用電池は、二酸化マンガンリチウム電池CR2032です。)

■取り外しかた

- ① 日除けカバー取付ねじ(5本)を外し、カバーを外します。
- ② 本体カバー取付ねじ(5本)を外し、カバーを外します。
- ③ 図の ← 矢印方向に電池を押し、電池を引き抜きます。

■取り付けかた

- ① 新しい電池の+側を下にして、先端を ← 矢印方向からホルダーに入れ、押し込みます。
- ② 本体カバー、日除けカバーを各々ねじ5本で取り付けます。



消耗品の交換

■モーターの交換

動作に支障がある場合は、交換してください。
交換については、販売店にご相談ください。

■ベルトの交換

プリセット停止精度が劣化した場合は、交換してください。
交換については、販売店にご相談ください。

■ギヤの交換

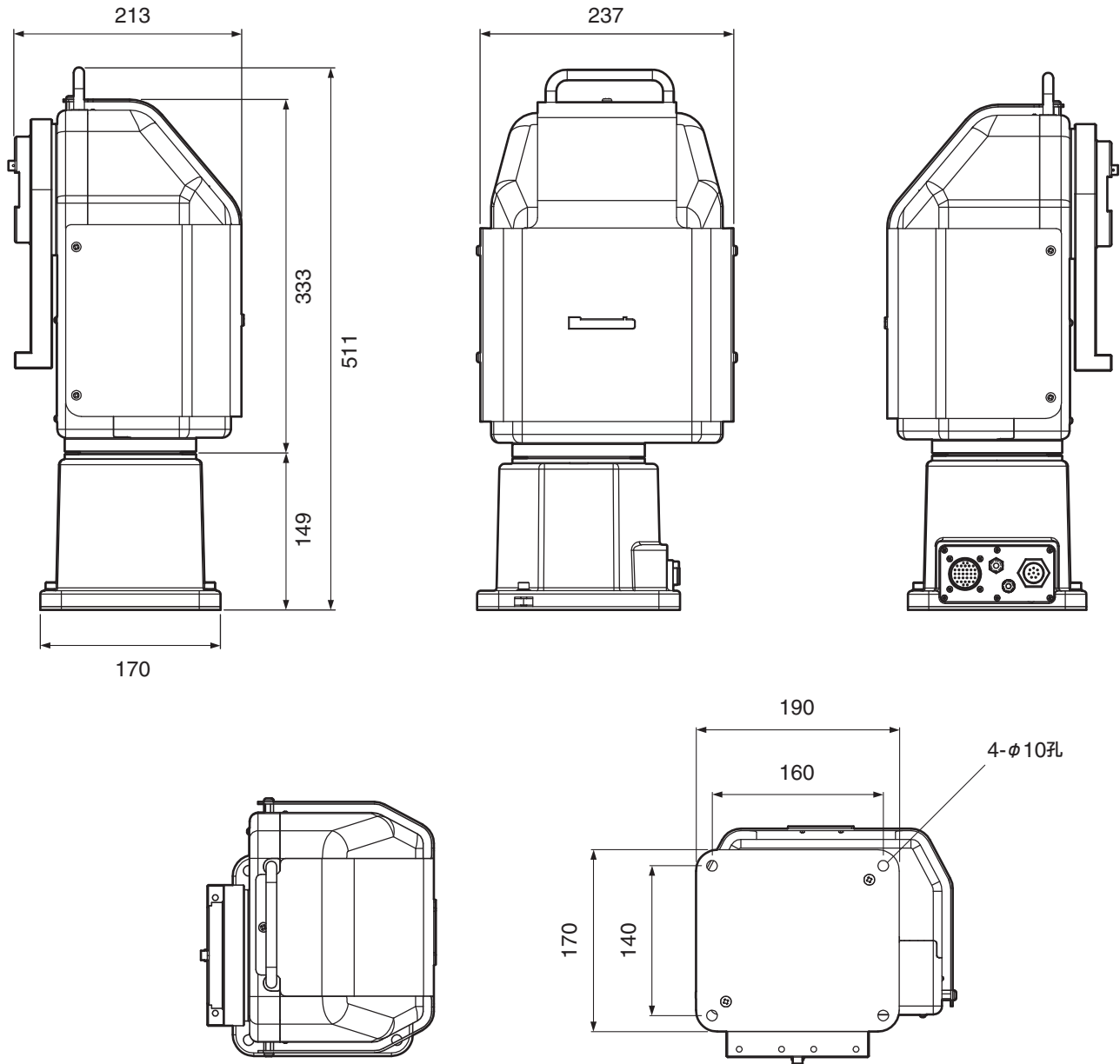
プリセット停止精度が劣化した場合は、交換してください。
交換については、販売店にご相談ください。

モーターやギヤおよびベルトは、消耗品です。
定期的な交換が必要です。

外形寸法図

■本体部

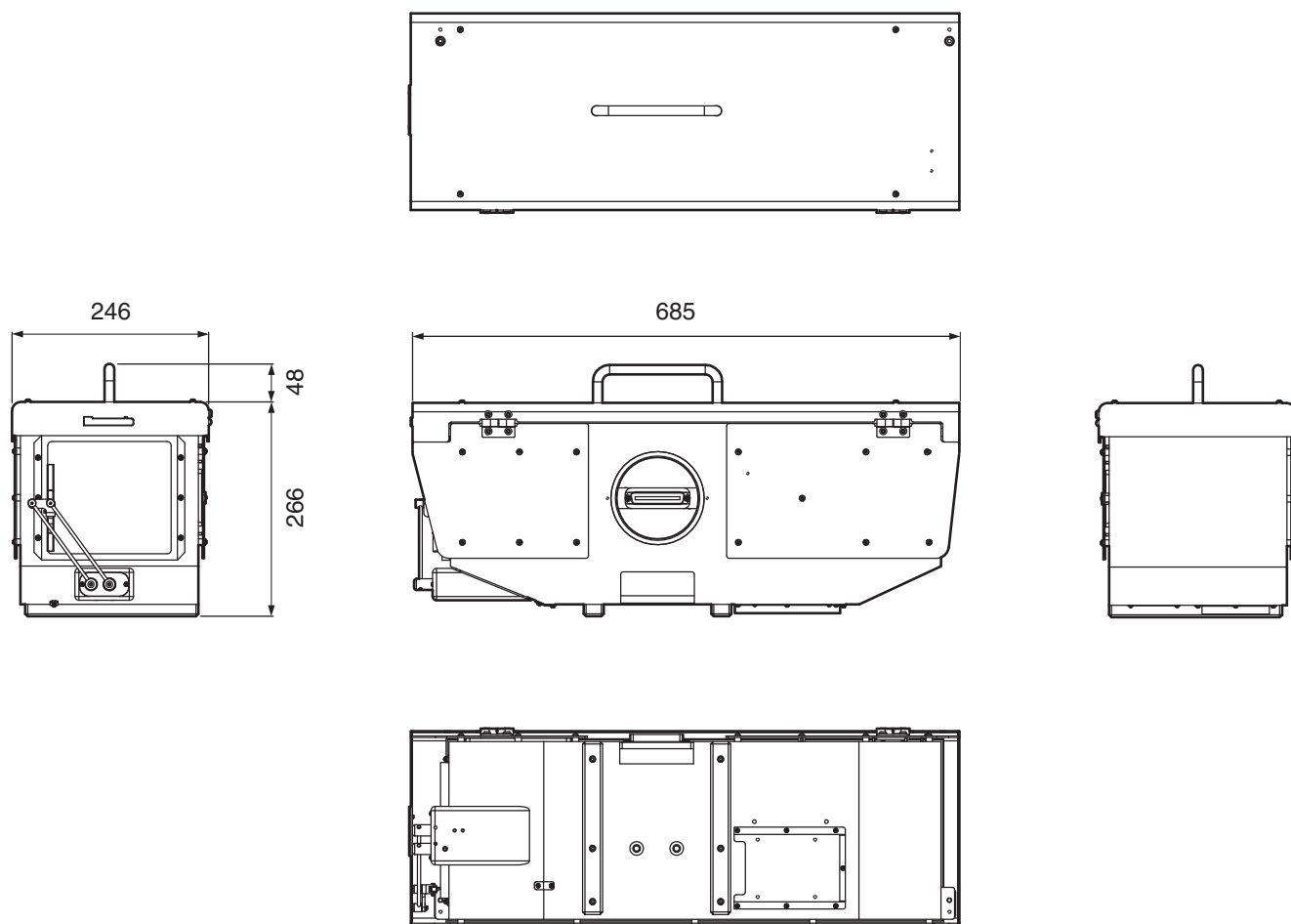
単位：mm



外形寸法図

■ハウジング部

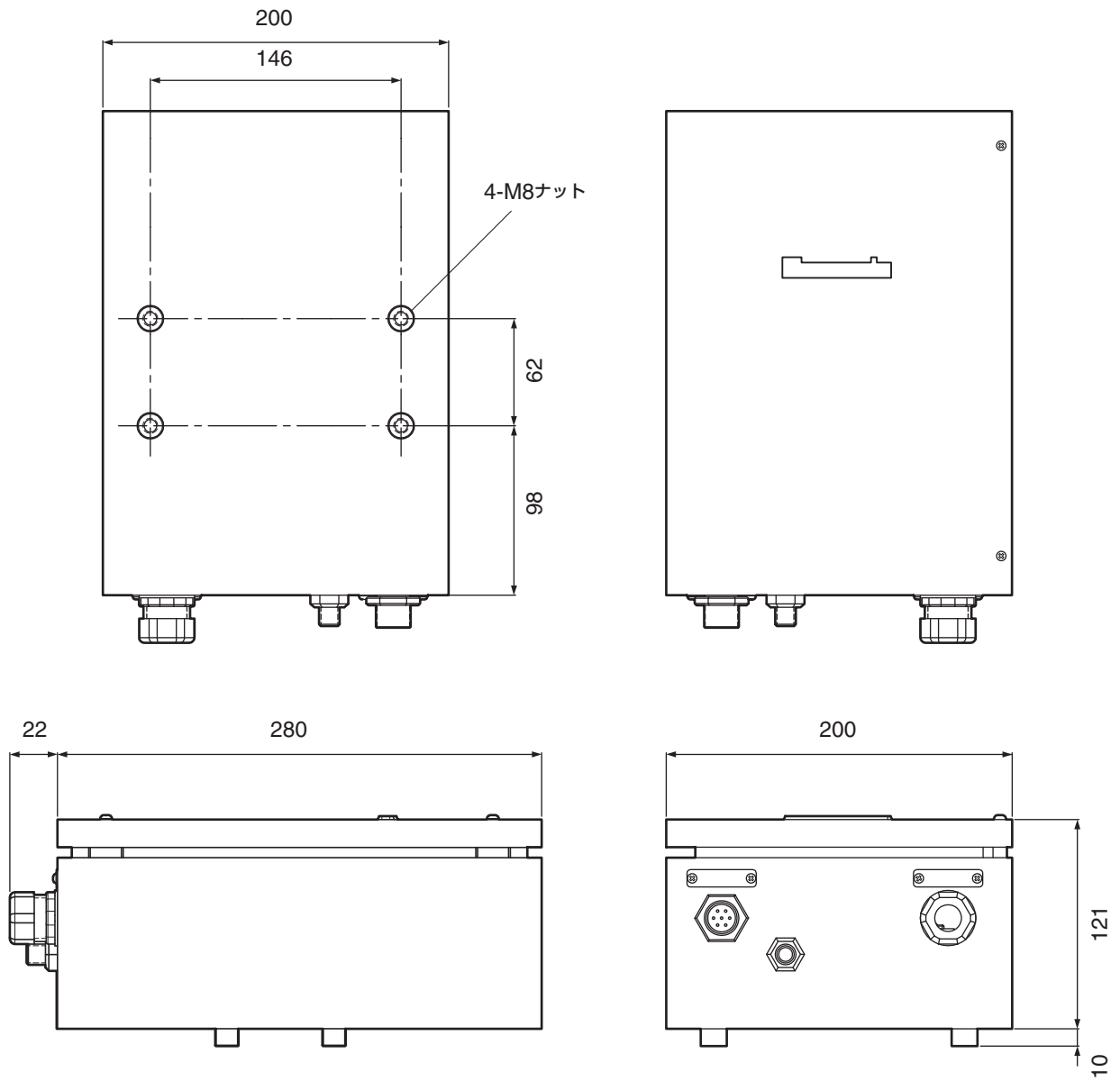
単位：mm



外形寸法図

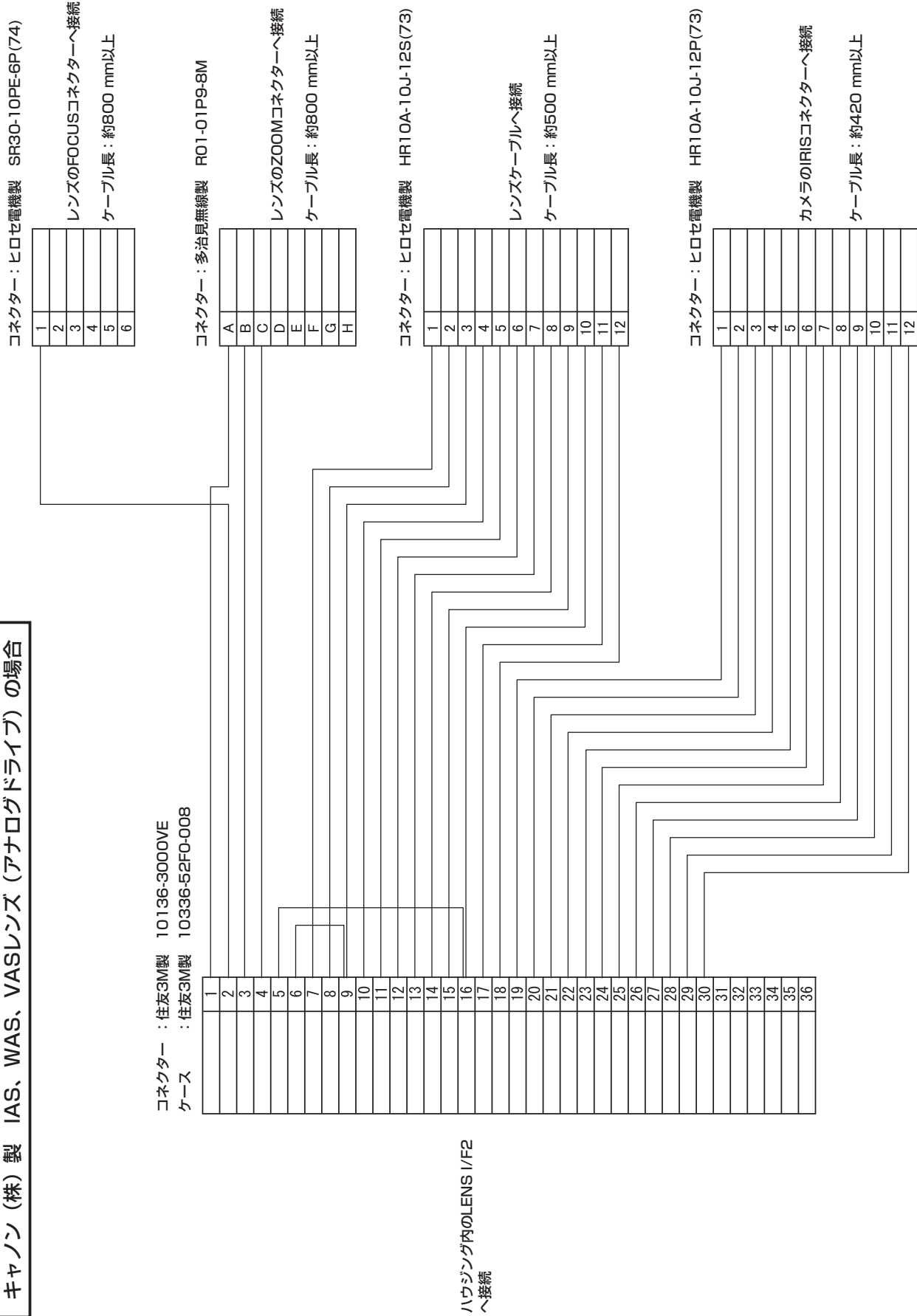
■ACアダプター部

単位：mm



ケーブル仕様

キヤノン (株) 製 IAS、WAS、VASレンズ (アナログドライブ) の場合



※ケーブル長は、めやすです。実際のシステムに合わせて作成してください。

ケーブル仕様

キヤノン (株) 製 IASD、WASD、VASDレンズ (デジタルドライブ) の場合

コネクタ：ヒロセ電機製 HR25-9P-20P(72)

| |
|----|
| 1 |
| 2 |
| 3 |
| 4 |
| 5 |
| 6 |
| 7 |
| 8 |
| 9 |
| 10 |
| 11 |
| 12 |
| 13 |
| 14 |
| 15 |
| 16 |
| 17 |
| 18 |
| 19 |
| 20 |

コネクタ：住友3M製 10136-3000VE
ケース：住友3M製 10336-52FO-008

| |
|----|
| 1 |
| 2 |
| 3 |
| 4 |
| 5 |
| 6 |
| 7 |
| 8 |
| 9 |
| 10 |
| 11 |
| 12 |
| 13 |
| 14 |
| 15 |
| 16 |
| 17 |
| 18 |
| 19 |
| 20 |
| 21 |
| 22 |
| 23 |
| 24 |
| 25 |
| 26 |
| 27 |
| 28 |
| 29 |
| 30 |
| 31 |
| 32 |
| 33 |
| 34 |
| 35 |
| 36 |

レンズの
ZOOM/FOCUSコネクタへ接続
ケーブル長：約800 mm以上

コネクタ：ヒロセ電機製 HR10A-10J-12S(73)

| |
|----|
| 1 |
| 2 |
| 3 |
| 4 |
| 5 |
| 6 |
| 7 |
| 8 |
| 9 |
| 10 |
| 11 |
| 12 |

レンズケーブルへ接続
ケーブル長：約500 mm以上

ハウジング内のLENS I/F2
へ接続

コネクタ：ヒロセ電機製 HR10A-10J-12P(73)

| |
|----|
| 1 |
| 2 |
| 3 |
| 4 |
| 5 |
| 6 |
| 7 |
| 8 |
| 9 |
| 10 |
| 11 |
| 12 |

カメラのIRISコネクタへ接続
ケーブル長：約420 mm以上

※ケーブル長は、めやすです。実際のシステムに合わせて作成してください。

ケーブル仕様

フジノン (株) 製 RDレンズの場合

コネクター：ヒロセ電機製 HR10A-10P-12P(73)

| |
|----|
| 1 |
| 2 |
| 3 |
| 4 |
| 5 |
| 6 |
| 7 |
| 8 |
| 9 |
| 10 |
| 11 |
| 12 |

レンズのFOCUSコネクターへ接続
ケーブル長：約800 mm以上

コネクター：住友3M製 10136-3000VE
ケース：住友3M製 10336-52FO-008

| |
|----|
| 1 |
| 2 |
| 3 |
| 4 |
| 5 |
| 6 |
| 7 |
| 8 |
| 9 |
| 10 |
| 11 |
| 12 |
| 13 |
| 14 |
| 15 |
| 16 |
| 17 |
| 18 |
| 19 |
| 20 |
| 21 |
| 22 |
| 23 |
| 24 |
| 25 |
| 26 |
| 27 |
| 28 |
| 29 |
| 30 |
| 31 |
| 32 |
| 33 |
| 34 |
| 35 |
| 36 |

コネクター：ヒロセ電機製 HR10A-10P-12P(73)

| |
|----|
| 1 |
| 2 |
| 3 |
| 4 |
| 5 |
| 6 |
| 7 |
| 8 |
| 9 |
| 10 |
| 11 |
| 12 |

レンズのZOOMコネクターへ接続
ケーブル長：約800 mm以上

コネクター：ヒロセ電機製 HR10A-10J-12S(73)

| |
|----|
| 1 |
| 2 |
| 3 |
| 4 |
| 5 |
| 6 |
| 7 |
| 8 |
| 9 |
| 10 |
| 11 |
| 12 |

レンズケーブルへ接続
ケーブル長：約500 mm以上

コネクター：ヒロセ電機製 HR10A-10J-12P(73)

| |
|----|
| 1 |
| 2 |
| 3 |
| 4 |
| 5 |
| 6 |
| 7 |
| 8 |
| 9 |
| 10 |
| 11 |
| 12 |

カメラのIRISコネクターへ接続
ケーブル長：約420 mm以上

ハウジング内のLENS I/F2
へ接続

※ケーブル長は、めやすです。実際のシステムに合わせて作成してください。

定 格

電源電圧： AC 100 V 50/60 Hz
消費電力： 120 W

 は安全項目です。

| | |
|----------------|--|
| 使用温度範囲 | : - 20 °C ~ + 45 °C |
| 使用周囲湿度 | : 30 % ~ 90 % (結露なきこと) |
| 適合防水規格 | : IPX4 |
| 重量 | : 本体部 : 約19 kg ハウジング部 : 約18 kg ACアダプター部 : 約4.2 kg |
| 外形寸法 (幅×高さ×奥行) | : 本体部 : 237×511×213 mm (突起部除く) ハウジング部 : 246×314×685 mm (突起部除く) ACアダプター部 : 200×131×280 mm (突起部除く) |
| 仕上げ | : AVアイボリー塗装 (マンセル7.9Y6.8/0.8 近似色) |
| 対応コントローラー | : AW-RP605A、AW-RP605、AW-RP655、AW-RP555、AK-HRP150 |
| 対応カメラ | : AW-E860、AW-E750、AW-E655、AW-E650、AW-E350、AW-E800A、 AW-E600、AW-E300A、AW-E300、AK-HC900シリーズ、AK-HC1500 |

【本体部】

| | |
|------------|---|
| ゲンロック入力 | : BNCジャック (24P丸型防水コネクター) ブラックバースト、コンポジットVIDEOまたは3値SYNC |
| カメラ映像出力 | : VIDEO : BNCジャック (24P丸型防水コネクター)、75 Ω出力 Y : BNCジャック (24P丸型防水コネクター)、75 Ω出力 Pr/C : BNCジャック (24P丸型防水コネクター)、75 Ω出力 Pb : BNCジャック (24P丸型防水コネクター)、75 Ω出力 SDI : 同軸防水型コネクター (C15型) |
| 回転台コントロール | : RJ-45 モジュラープラグ (24P丸型防水コネクター)、RS-422 |
| カメラコントロール | : AWシリーズ : RJ-45 モジュラープラグ (24P丸型防水コネクター)、RS-422 AKシリーズ : D-SUB 15ピン (24P丸型防水コネクター)、RS-422 |
| ハウジング接続I/F | : リボンコネクター 50ピン |
| 機能/性能 | |
| 最大積載重量 | : 10 kg (ハウジングを除く) |
| パン範囲 | : 320° (約±160°) 以上 |
| チルト範囲 | : + 50°、- 95° 以上 |
| 最大動作速度 | : 20° /s |
| リピータビリティ | : ±5' 以下 |
| 騒音レベル | : NC40以下 |

【ハウジング部】

| | |
|--------|--|
| 適用レンズ | : AW-LZ17MD9、AW-LZ16MD73、AW-LZ16AF7、AW-LZ16MD55、 HA42×13.5BERD、A42×13.5BERD、HJ40×14B IASD-V、J35e×15B IASD |
| ヒーター | : ON/OFF可、約5 °C以下でON |
| ワイパー | : ON/OFF可 |
| デフロスター | : ON/OFF可、約40 °C以上でOFF |
| ファン | : ON/OFF可、約20 °C以上でON |
| 最大積載重量 | : 10 kg (カメラ+レンズ) |

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、この屋外回転台の補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

| ご連絡いただきたい内容 | |
|-------------|-----------|
| 製品名 | 屋外回転台 |
| 品番 | AW-PH650N |
| お買い上げ日 | 年 月 日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。